

Panasonic®

ポータブルミニディスク レコーダー

品番 SL-MR10

取扱説明書

Operating Instructions



このたびは、ポータブルミニディスクレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使うって上手に節電



RQT3066-2S

特長

デジタルならではの高音質

コンパクトなボディにデジタル技術を凝縮して、ノイズの少ないクリアな音が、屋外・屋内を問わず楽しめます。

長時間プレイ

高容量リチウムイオン充電式電池の採用と、省電力設計により、充電式電池と乾電池あわせて連続約8時間の再生が可能です。

楽しいオリジナル・ディスク作り

ディバイド（分割）、ジョイン（結合）、リナンバー（曲の並べかえ）機能を使って、オリジナル・ディスクが簡単に作れます。

充実の文字入力機能

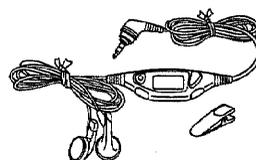
ディスクや曲に、名前がつけられます。カタカナ・アルファベット・数字が使えます。



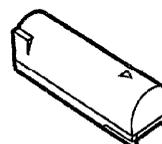
付属品

まず付属品を確かめてください。

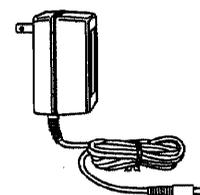
リモコン付きステレオインサイドホン(RFEV130P-KS) …… 1



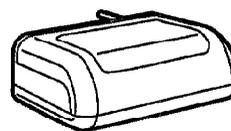
専用充電式電池パック
(サービスルート扱い: RP-BP10LSY) …… 1



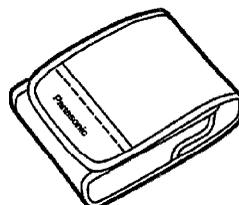
専用 AC アダプター
(RFEA602J-M) …………… 1



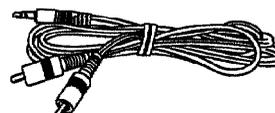
乾電池ケース (RFA0604-K) …… 1



キャリングケース
(RFCZMR10-001) …………… 1



ラインコード (RJLZMR10-001) …… 1



もくじ

●操作の前に

安全上のご注意（本機編）	4	各部のなまえ	14
電源の準備	12	誤操作防止のために	15

●すぐ使う（基本の操作）

まず録音して、聞いてみよう	9
---------------	---

●じっくり使う（応用の操作）

録音	ミニディスクの録音について	16	再生	好みの曲を予約順に聞く	28
	録音する機器と接続する	18		順不同に聞く	29
	デジタル入力で録音する	20		イントロだけ聞く	29
	アナログ入力で録音する	22		音質を変える	30
	マイクから録音する （アナログ入力）	24		表示を切り換える	31
再生	モノラルで録音するには	25	編集	ミニディスクの編集について	32
	一度録音したMDに録音するには	25		2曲を1つにまとめる	36
	前後にとび越す	26		1曲を2つに分ける	38
	早送り・早戻しする	26		曲を並べかえる	39
	再生をくり返す	27		録音した曲を消す	40
				名前をつける	42
				他の機器と組み合わせて使う	44

●ご参考

ミニディスクについて	45	お手入れ	52
ミニディスクとしての制約	46	定格	53
故障かな！？	47	保証とアフターサービス	54
こんな表示が出たときは？	48	Operating Instructions	58
安全上のご注意（電池編）	50	用語解説	裏表紙
著作権について	52	リモコン早見表	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示案内を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



危険

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



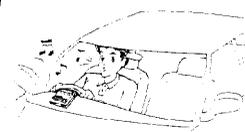
このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

カーオーディオとの使用について

運転に支障をきたすところへ取り付けない

- ・前方視界や運転操作を妨げるところに取り付けると、交通事故の原因になります。



警告

本機について

自動車やバイク、自転車などの運転中は、ヘッドホンを使ったり、機器の操作をしたりしない

- ・ 周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。
- ・ 歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。特に、踏切や横断歩道ではご注意ください。

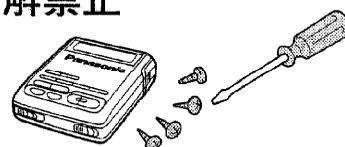


ネジをはずしたり、分解、改造したりしない

- ・ 機器が故障し、感電やけがの原因になるほか、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- ・ 内部の点検や修理などは、販売店へご依頼ください。



分解禁止

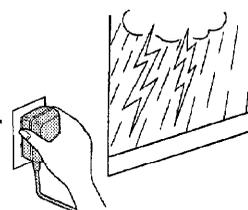


雷が鳴ったら、ACアダプターに触れない

- ・ 誘導雷により、感電の恐れがあります。



接触禁止

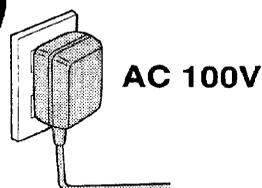


⚠ 警告

ACアダプターについて

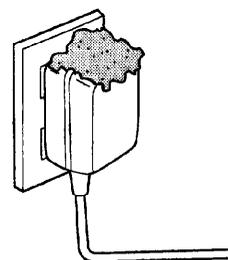
付属 AC アダプターを使い、電源は交流（AC）100V を使う

- ・海外などの指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。
- ・プラグは完全に差し込んでください。
- ・長期間使用しないときは、安全のためコンセントから抜いておいてください。



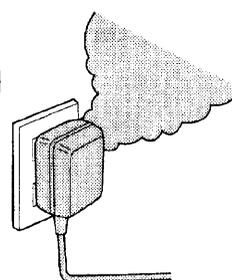
プラグにほこりや汚れが付いた状態で使用しない

- ・電気がほこりや汚れを伝わり、火災や感電の原因になります。
- ・ほこりや汚れがたまったときは、ACアダプターをコンセントから抜き、取り除いてください。



煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したときは使用を中止する

- ・そのまま使用すると、火災の原因になります。
- ・販売店にご相談ください。

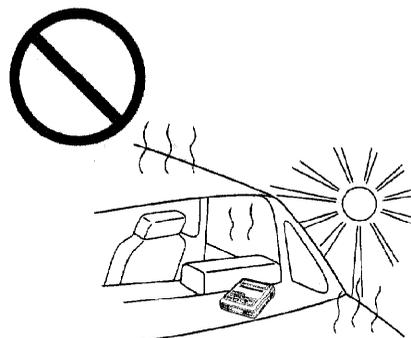


⚠ 注意

本機について

異常に温度が高くなる場所には置かない

- ・ 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。
- ・ 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。



音量を上げすぎない

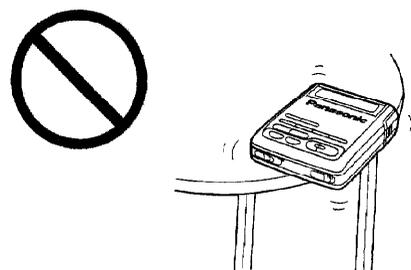
- ・ 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ・ 突然大きな音が出ますので、操作する前には、音量を絞っておいてください。



使用場所について

不安定なところに置かない

- ・ 機器が落ちたりして、けがの原因になることがあります。

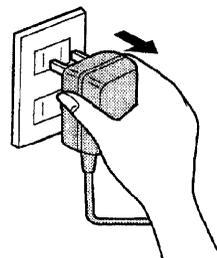


⚠ 注意

ACアダプターについて

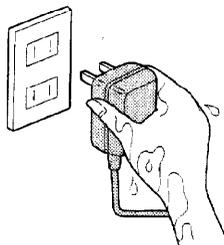
抜き差しは AC アダプター本体を持つ

- ・コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。



濡れた手で AC アダプターを抜き差ししない

- ・感電する恐れがあります。



カーオーディオとの使用について

自動車運転中は、音量を上げすぎない

- ・車外の音が聞こえないような音量で聞きながら運転すると、交通事故の原因になることがあります。

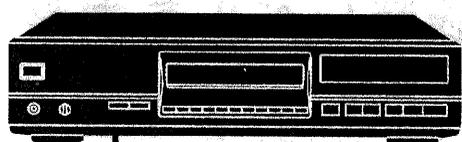


まず録音して、聞いてみよう

準備

例：CDをアナログ入力で録音します。

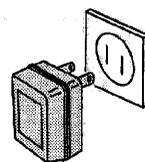
1 CDプレーヤーと接続する



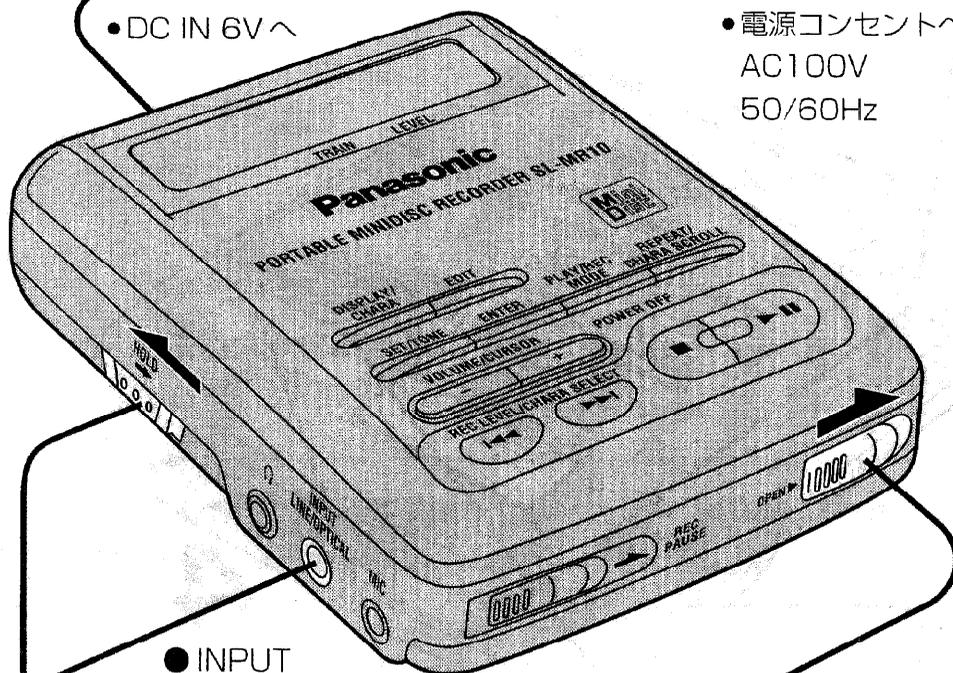
付属のラインコード

●DC IN 6Vへ

2 ACアダプター(付属)を接続する

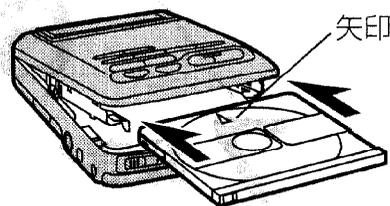


●電源コンセントへ
AC100V
50/60Hz



●INPUT
LINE/OPTICALへ

3 ふたを開けて録音用MDを入れる



4 HOLD状態を解除する

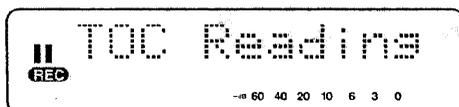
奥に当たるまで差し込みます。
ふたを閉めます。

まず録音して、聞いてみよう（つづき）

録音する

1 録音待機状態にする

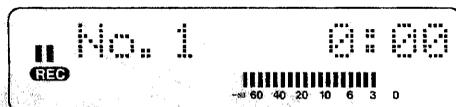
自動的に電源が入ります。



2 CDプレーヤーで CDの演奏を始める

3 録音レベルを調整 する

「▶▶」：レベルが上がる
「◀◀」：レベルが下がる
ときおり“3”を指すくらいにします。

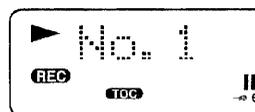


“OVER”が表示する
レベルでは音がひ
ずみます。

4 CDプレーヤーで CDの演奏を 止める

5 「▶||」を押す

録音が始まります。



6 CDプレーヤーで CDの演奏を始める

7 録音を止める

“UTOC Writing” の表示
→消灯後、録音が完了します。



再生する



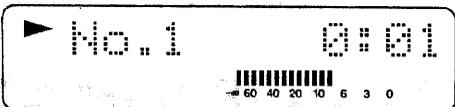
1 インサイドホンをつなぐ

クリップの取り付け方
コードの損傷を防ぐため、
取り付け後は、クリップ
をスライドさせないで
ください。



2 「▶||」を押す

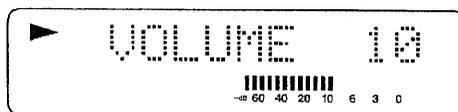
再生が始まります。



(ステレオ/モノラル録音
が混在しているディスクで
も再生可能です)

3 好みの音量にする

+ : 大きくなる
- : 小さくなる



(調整範囲 0 ~ 20)

4 再生を止める

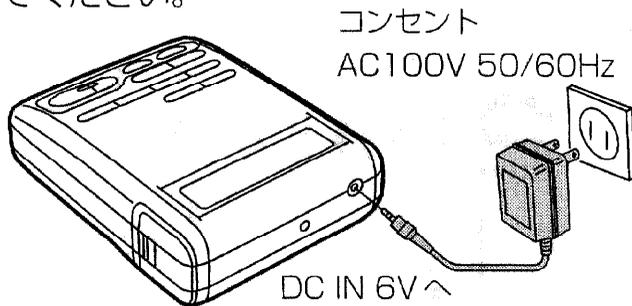
- ディスクを取り出さずに「▶||」を押すと、停止した曲の頭から再生します。
- 停止中に「■」を押すと、電源が切れます。

停止状態で、約2分間ボタン操作をしないと、自動的に電源が切れます。

電源の準備

ACアダプターで使うには（付属）

必ず付属のACアダプターを使用してください。



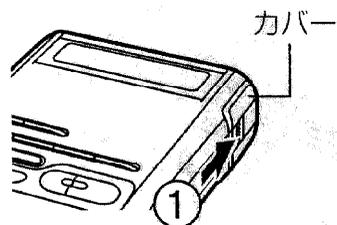
長時間ACアダプターで使わないときは、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

POWER OFF ボタンで電源を切っただけでは、約2.5Wの電力を消費しています。

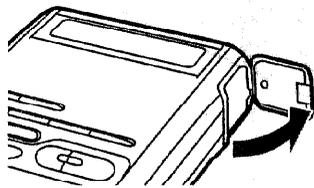
充電式電池パックで使うには（付属）

お買い上げ時には充電されていません。必ず充電してから使用してください。

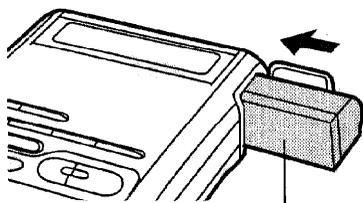
1 カバーを開ける



①の方向へずらしながらカバーを開けます。



2 充電式電池パックを入れ、カバーを閉める



形状に合わせて入れます。

3 ACアダプターを接続する

表示パネルにCHARGE表示が出て、充電が始まります。

CHARGE表示が出ないときは、ACアダプターを接続しなおしてください。

充電が終わると、“CHARGE”が消えます。

約3時間でフル充電になります。

4 充電完了後、ACアダプターを抜く

充電式電池パックは

- ・約300回充電できます。
- ・毎日の使用で約10カ月使えます。
- ・持続時間を十分活かすために、再生できない状態まで使いきってから充電することをおすすめします。
- ・使用時間が著しく短くなると寿命です。新しいものと交換してください。(サービスルート扱い：RP-BP10LSY)

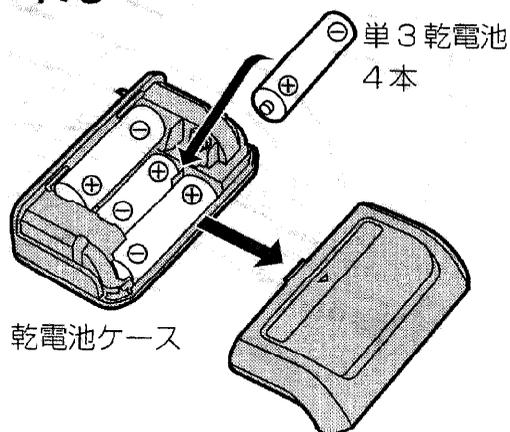
ご注意

本機を操作しているときは充電されません。

乾電池で使うには（別売り）

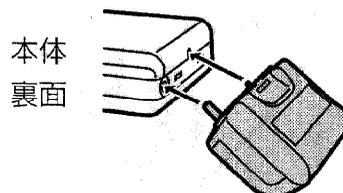
単3乾電池4本を使用してください。乾電池は寿命の長いパナソニックアルカリをおすすめします。

1 乾電池ケースに乾電池を入れる

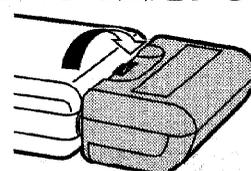


2 乾電池ケースを取り付ける

①端子の位置を合わせる。



②ネジを回して固定する。

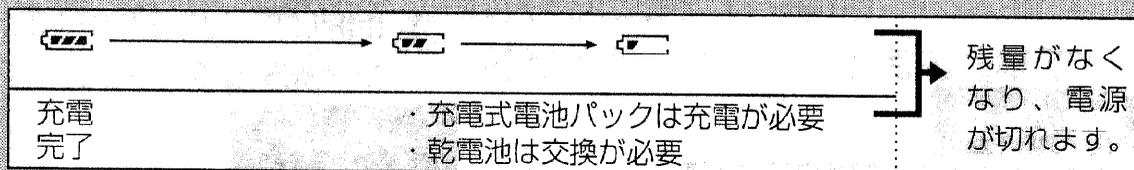


■電池の持続時間（充電式電池パックはフル充電）

	連続再生	連続録音
充電式電池パック	約3時間40分	約3時間
乾電池	約4時間30分	約3時間30分
充電式電池パック+乾電池	約8時間	約6時間30分

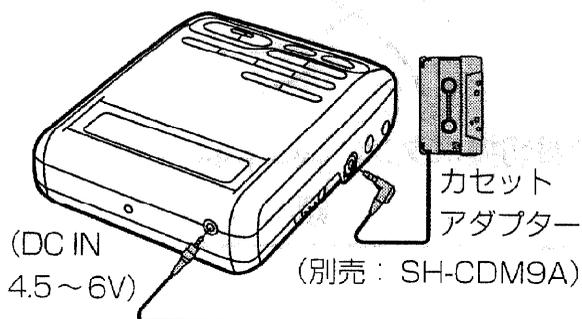
（乾電池は、パナソニックアルカリ使用時）

■電池残量表示（充電式電池・乾電池）の見かた



カー電源アダプターで使うには（別売り）

必ず別売りのカー電源アダプター（別売：SH-CDC9）を使用してください。



ご注意

カー電源アダプター（SH-CDC9）を使って再生することはできますが、カー電源から充電することはできません。

各部のなまえ

本体

ディスプレイキャラクター
DISPLAY/CHARA [表示/文字種切換] ボタン

表示パネル

ホールド
HOLD
[本体用ホールド]
つまみ

セット/トーン
SET/TONE [セット/音質切
換 (トラックマーク)] ボタン

ボリュームカーソル
VOLUME/CURSOR [音量調
整/カーソル移動] ボタン

🔊 [ヘッドホン、(アナログ出力)] 端子

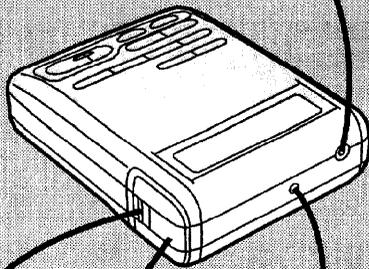
レックポーズ
REC PAUSE [録音待
機、(電源入)] つまみ

マイク
MIC [マイク] 端子

インプット ライン オプティカル
INPUT、LINE/OPTICAL [ライ
ン/光デジタル入力] 端子

本体の後面

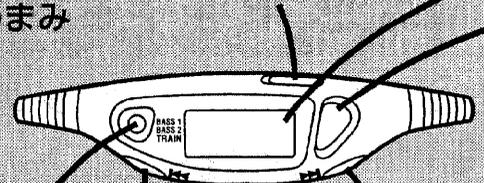
DC IN 6V [外部電源] 端子



カバー
カバー開つまみ 乾電池ケース取付穴

リモコン

ホールド
HOLD [リモコン用ホールド]
つまみ



音質切換ボタン
⏪⏩ [早送り・早戻し
頭出し] ボタン

誤操作防止のために

(ホールド機能)

誤って操作ボタンが押されても受け付けないようにする機能です。次のようなことを防ぎたいときにお使いください。

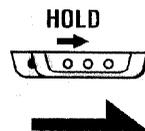
例1：使用していないときに電源が入り、電池が消耗する。

例2：使用中に誤ってボタンが押され、再生が中断してしまう。

ご参考

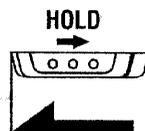
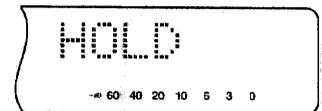
本体とリモコンにそれぞれ「HOLD」があり、別々にホールド状態になります。

本体の「HOLD」



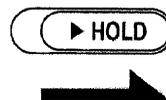
ホールド

操作ボタンを押すと、約5秒間表示

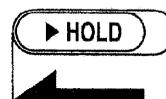
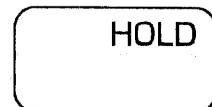


解除

リモコンの「HOLD」



ホールド



解除

操作前に必ず解除してください。

エディット
EDIT [編集モード切換] ボタン

エンター
ENTER [実行] ボタン

プレイ/レック モード
PLAY/REC MODE [再生/録音
モード切換] ボタン

リピート キャラクター スクロール
REPEAT/CHARA SCROLL [リ
ピート/文字スクロール] ボタン

▶|| [再生、一時停止、(電源入)]
ボタン

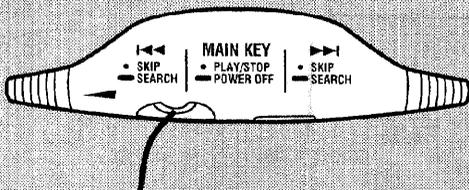
■、POWER OFF [停止、電源切]
ボタン

オープン
OPEN [ふた開] つまみ

レック レベル キャラクター セレクト
REC LEVEL/ CHARA SELECT
[早送り・早戻し、
頭出し、
録音レベル調整/文字選択] ボタン

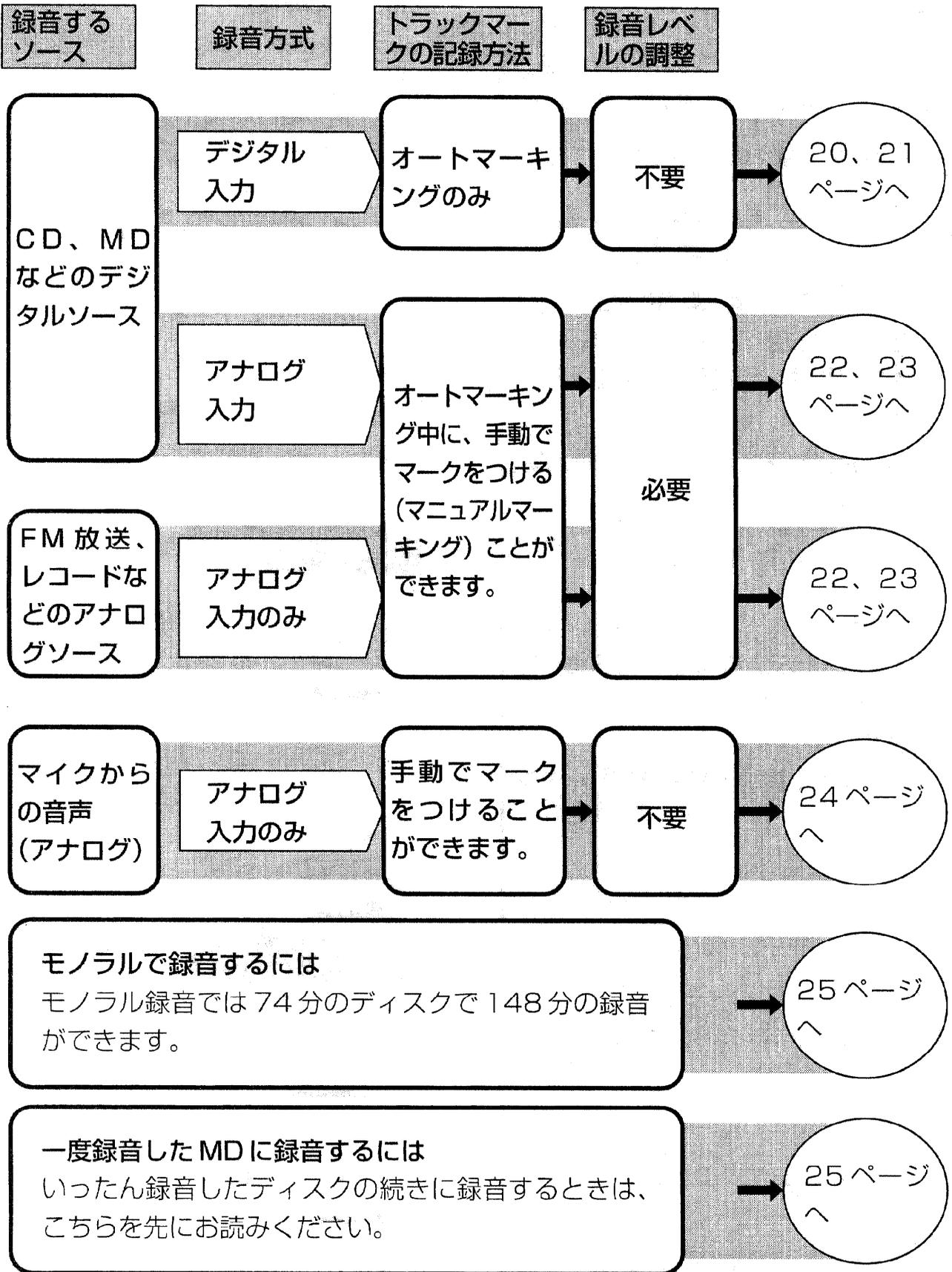
表示パネル

メイン
MAIN [マルチ操作] ボタン



ボリューム
VOLUME [音量調整] つまみ

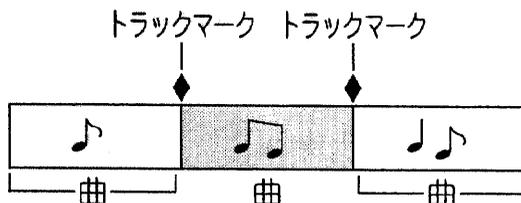
ミニディスクの録音について



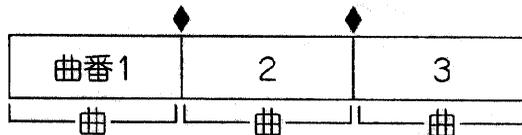
トラックマークについて

■トラックマークと曲番

ミニディスクは、聞きたい曲を番号で選ぶことができます。これは各曲の頭に、頭出しのためのマークが付いているからです。このマークを「トラックマーク」といいます。トラックマークから次のトラックマークまでが「曲」です。



曲を再生順に番号で示しているのが「曲番」です。



■トラックマークをつける

頭出しのほかに、「編集」が行えます。(32 ページ)

トラックマークのつけかたは、オートマーキングとマニュアルマーキングの2種類があります。

●オートマーキングでは

曲の変わり目に、トラックマークが自動的についていきます。

●マニュアルマーキングでは

手動でトラックマークをつけていきます。

上手に録音するために

■電池の消耗による録音の失敗を防ぐために

録音時はACアダプターを使われることをおすすめします。

電池使用時は、途中で電源が途切れないように注意してください。

■ご注意

- ・“UTOC Writing”表示前に、電源が途切れると、録音内容はディスクに記録されません。
- ・“UTOC Writing”表示中に電源が途切れると、ディスクが使えなくなります。

■振動を与えない

録音中は振動を与えないようにしてください。

特に録音終了時の“UTOC Writing”表示中は注意してください。ディスクが使えなくなります。

録音中は、音量調整以外のリモコン操作はできません。

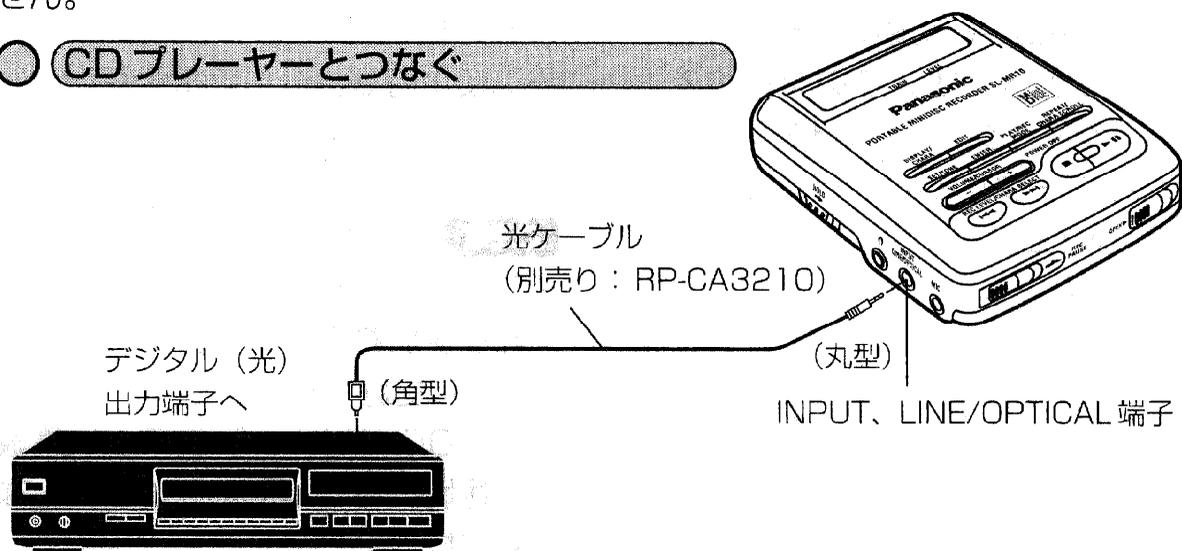
録音する機器と接続する

接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

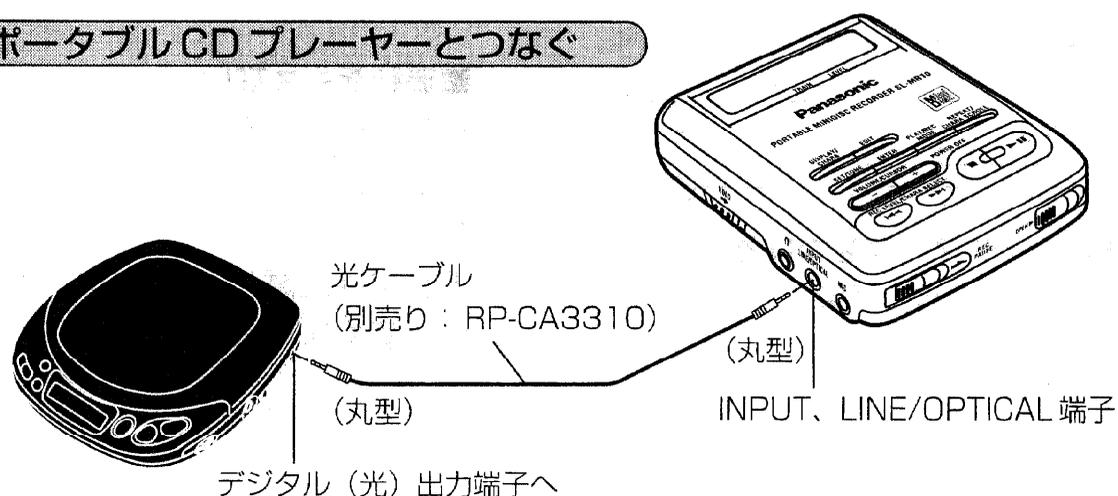
デジタル (光) 端子のある機器との接続 **デジタル入力**

自動的に、デジタル入りに切り換わります。録音レベルを調整する必要はありません。

○ CDプレーヤーとつなぐ



○ ポータブルCDプレーヤーとつなぐ



ご注意

デジタル入出力で接続しても、次の場合には、サンプリング周波数が合っていないため、録音/再生できません。ミニディスクのサンプリング周波数は44.1kHzです。

- ・ 衛星放送の32kHzモードまたは48kHzモード音声
- ・ DATの32kHzモードまたは48kHzモードで録音された曲
- ・ 接続した機器のサンプリング周波数が44.1kHzでないとき

ご参考

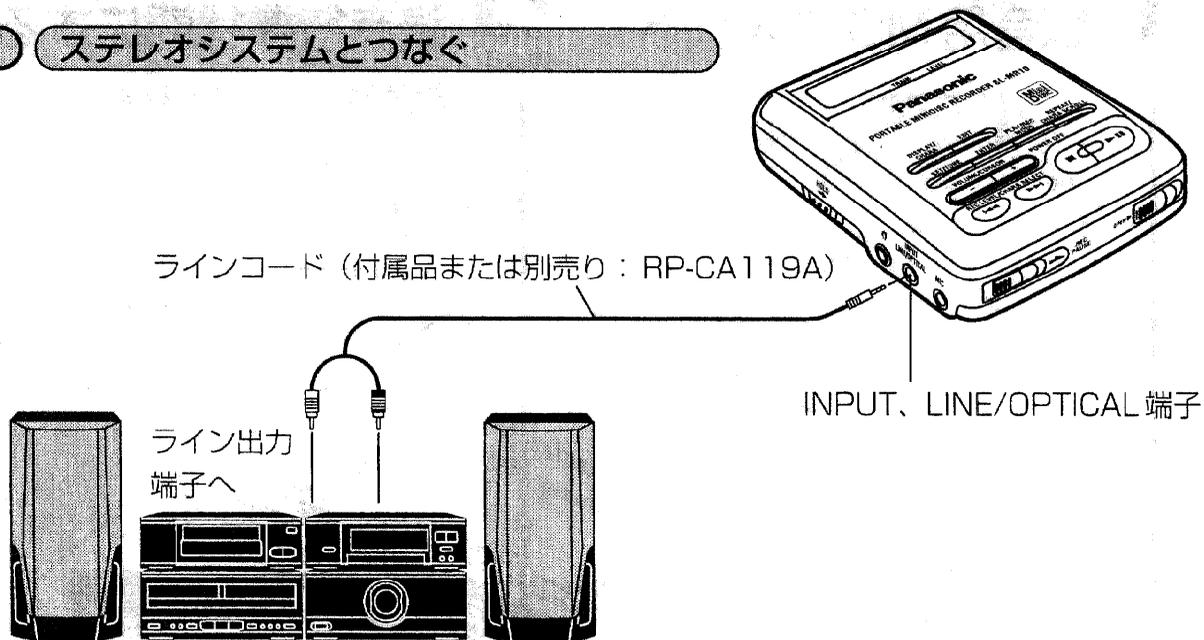
光ケーブルを使用するときは、接続する機器の端子の形状を確認してからつないでください。

ライン端子のある機器との接続

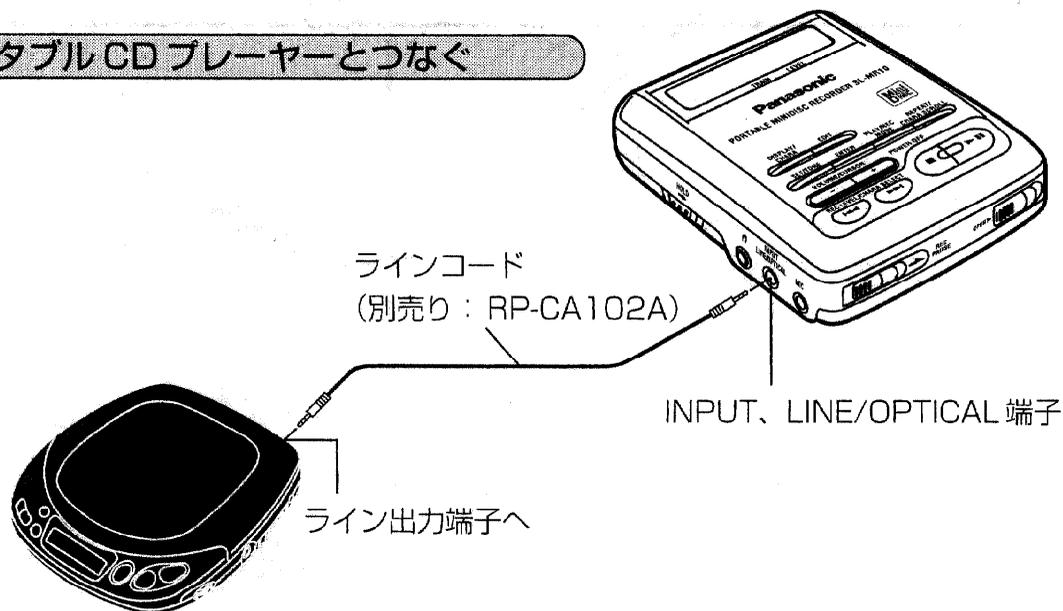
アナログ入力

自動的に、アナログ入力に切り換わります。録音レベルを調整する必要があります。

① ステレオシステムとつなぐ



② ポータブルCDプレーヤーとつなぐ



デジタル入力で録音する

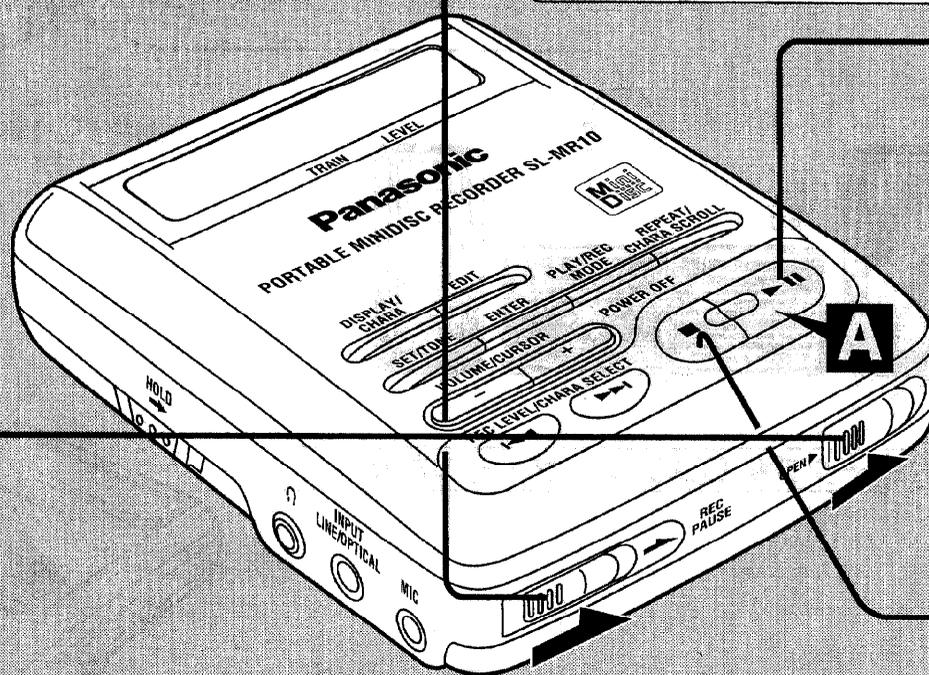
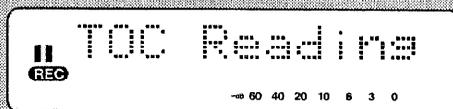
CDを例に、デジタル入力での録音を説明します。

準備) 誤消去防止つまみは閉じておきます。(45ページ)

1 録音用MDを入れる

2 録音待機状態にする

自動的に電源が入ります。



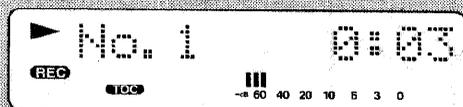
■トラックマークのつきかた

デジタル入力での録音時は、CDの曲番通りに、トラックマークが曲の変わり目につきます。

CDが次の曲に変わると、録音用MDの曲番が1つ増えます。

3 「▶II」を押す

録音が始まります。



4 CDプレーヤーで CDの演奏を始める

5 録音を止める

“UTOC Writing”の表示→
消灯後、録音が完了します。

一時停止するには **A**

「▶II」を押す。

再開するには、もう一度押す。

自動的に、トラックマークがつきます。

アナログ入力で録音する

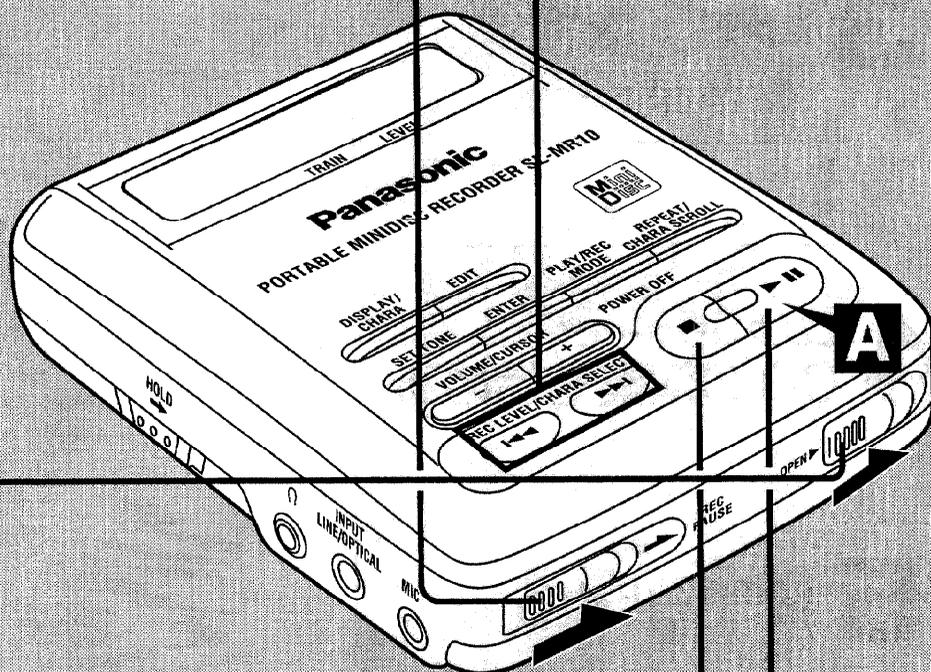
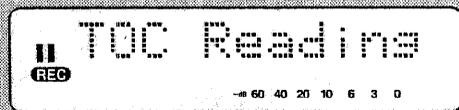
CD を例に、アナログ入力での録音を説明します。

準備) 誤消去防止つまみは閉じておきます。(45 ページ)

1 録音用 MD を入れる

2 録音待機状態にする

自動的に電源が入ります。



8 録音を止める

'UTOOC Writing' の表示→
消灯後、録音が完了します。

6 「▶||」を押す

録音が始まります。

7 CDプレーヤーで
CDの演奏を始める

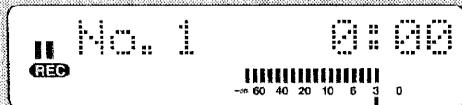
3 CDプレーヤーで CDの演奏を始める

4 録音レベルを調整 する

▶▶ : レベルが上がる

◀◀ : レベルが下がる

ときおり“3”を指すくらいにします。



ピークレベルメーター

“OVER”が表示するレベルでは音が歪みます。



5 CDプレーヤーで CDの演奏を止める

一時停止するには **A**

「▶||」を押す。

再開するには、もう一度押す。

自動的に、トラックマークがつきます。

■トラックマークのつきかた

3秒以上の無音部分を曲の変わり目と判別して、自動的にトラックマークがついていきます。

手動でつけるには

区切りたい位置で「SET/TONE」を押します。トラックマークがつき、曲番が1つ増えます。

■ご注意

曲間が短い、曲間に雑音が多いなどの理由で、トラックマークのつかないことがあります。

また、無音部分や音の小さい部分があると、曲中でもトラックマークのつくことがあります。このときは、録音終了後に、編集機能を使ってトラックマークを修正してください。(32ページ)

マイクから録音する [アナログ入力]

ステレオマイク（別売り：RP-VC300）を接続して、ステレオ録音できます。
準備）誤消去防止つまみは閉じておきます。（45 ページ）



- 1 **マイクを接続する**
プラグタイプ：ステレオミニ
(M3)
- 2 **録音用 MD を入れる**
- 3 **録音待機状態にする**
自動的に電源が入ります。
- 4 **「▶||」を押す**
録音が始まります。
- 5 **マイクに向かって音を出す**
- 6 **録音を止める**
“UTOC Writing” の表示→消
灯後、録音が完了します。

一時停止するには
「▶||」を押す。

再開するには、もう一度押す。
トラックマークがつきます。

■トラックマークのつきかた

マイクから録音しているときは、自
動的にトラックマークがつくことは
ありません。

手動でつけるには

区切りたい位置で「SET/TONE」
を押します。トラックマークがつき、
曲番が1つ増えます。

■振動を与えない

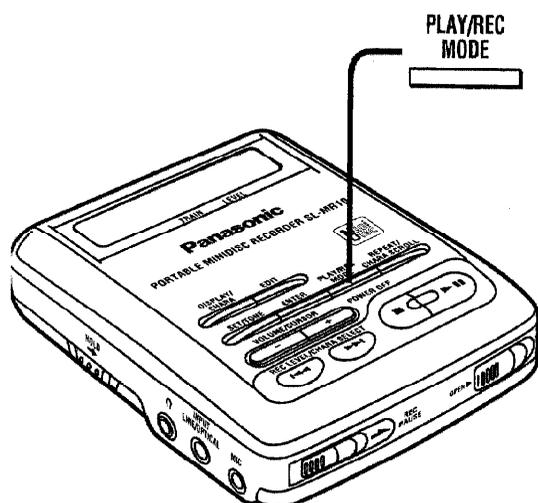
録音中は振動を与えないようにして
ください。

特に録音終了時の“UTOC Writing”
表示中は注意してください。ディス
クが使えなくなります。

ご注意

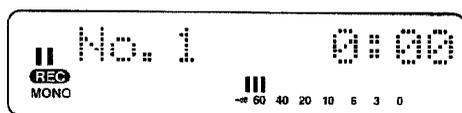
録音後は必ずマイクを抜いてくださ
い。マイクが接続されていると、他
の機器から録音できません。

モノラルで録音するには



モノラルで録音することにより、74分のディスクで、148分の録音が可能になります。

録音待機状態にしてから「PLAY/REC MODE」を押す



“MONO”表示のあとは、通常の録音操作をしてください。

解除するには「PLAY/REC MODE」を押して“MONO”を消す。

ご注意

- ・「■」で録音を止めても、モノラル録音モードは解除されません。ステレオで録音するときには、必ずモノラル録音モードを解除してください。
- ・モノラル録音したディスクは、他の機器では再生できないことがあります。
- ・ステレオ音声をモノラルで録音すると、左チャンネルの音だけが録音されます。

一度録音したMDに録音するには



録音済ディスクを使うときは、ディスクの空き時間を確認して、次のどちらかを選んでください。

(31 ページ)

■前回の録音を残して、続きに録音する場合

ディスクに未録音部があるときは、通常の録音操作によって、前回録音の終わった位置から自動的に録音されます。

■前回の録音を消して録音する場合

●選んだ曲だけ消すには

40 ページ

●全曲を消すには

41 ページ

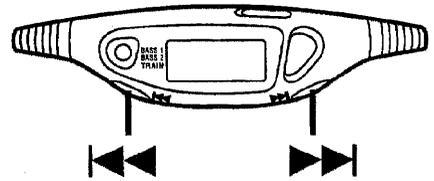
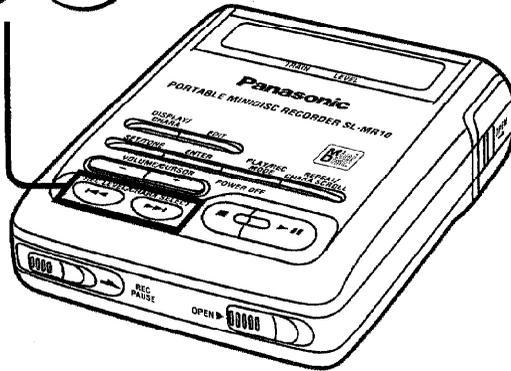
再生編

再生の基本的な操作は11ページをご覧ください。

前後にとび越す (スキップ)

早送り・早戻しする (サーチ)

REC LEVEL/CHARA SELECT



進む

「▶▶」：ポンと押す
次の曲にとび越します。

早送り

「▶▶」：再生中に、押し続ける

戻る

「◀◀」：ポンと押す
前の曲に戻ります。
再生中は、聞いている曲の頭に戻って再生します。
停止中のみ、押し続けると連続してとび越します。

早戻し

「◀◀」：再生中に、押し続ける

ご参考

早送り・早戻しの速度は2段階になっています。押し始めはゆっくり、押し続けると速くなります。

ご注意

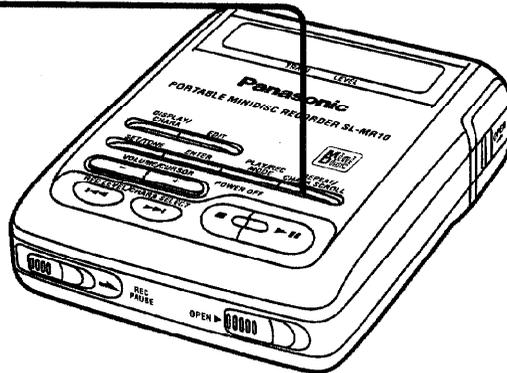
ランダムプレイ中は、再生の終わった曲に戻ることはできません。(29ページ)

ご参考

プログラムプレイ中は、予約した曲の順序で前後にとび越します。(28ページ)

再生をくり返す (リピート)

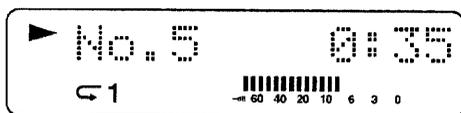
REPEAT/
CHARA SCROLL



1 曲をくり返すには (1 曲リピート)

- 1 くり返したい曲を再生する
- 2 再生中に、「REPEAT/CHARA SCROLL」を押して “◀ 1” を選ぶ

押すたびに ◀ 1 —————▶ ◀
↑ 消灯 (解除) ↓



再生中の 1 曲をくり返します。

解除するには

「REPEAT/CHARA SCROLL」を押して、“消灯” 状態にする。

全曲をくり返すには (全曲リピート)

再生中に、「REPEAT/CHARA SCROLL」を押して “◀” を選ぶ

押すたびに ◀ 1 —————▶ ◀
↑ 消灯 (解除) ↓



全曲をくり返します。

解除するには

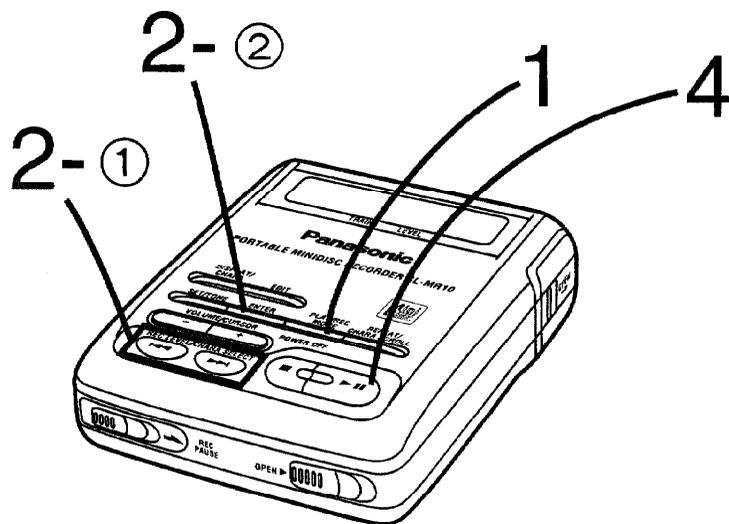
「REPEAT/CHARA SCROLL」を押して、“消灯” 状態にする。

ご参考

- ・ プログラムプレイ中は、予約した曲だけをくり返します。
- ・ ランダムプレイ中は、各曲を 1 度ずつ順不同に再生し、全曲の再生が終わると、新たな曲順で再生をくり返します。

好みの曲を予約順に聞く (プログラムプレイ)

最大32曲まで予約できます。



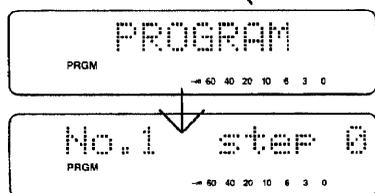
•「▶||」→「■」で停止状態にします。

1 「PLAY/REC MODE」を押して“PROGRAM”を選ぶ

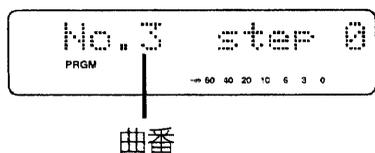
押すたびに

PROGRAM→RANDOM→INTRO

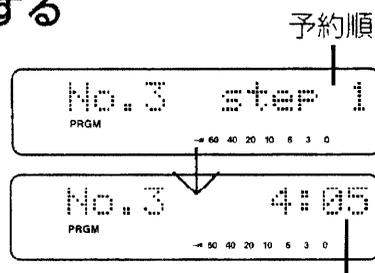
↑ 消灯 (解除) ↓



2 ①「◀◀」または「▶▶」を押して曲番を選び、



②「ENTER」を押して予約する



3 手順2の①②をくり返して予約を完了する

4 「▶||」を押す

予約順に再生が始まり、予約したすべての曲の再生が終わると自動停止します。

停止後は、手順2の操作で予約の追加ができます。

プログラムモードは、別のディスクに入れかえるまでメモリーされています。

解除するには

停止中に「PLAY/REC MODE」を押して、“消灯”状態にする。

■ “STEP” 表示が出なくなったら

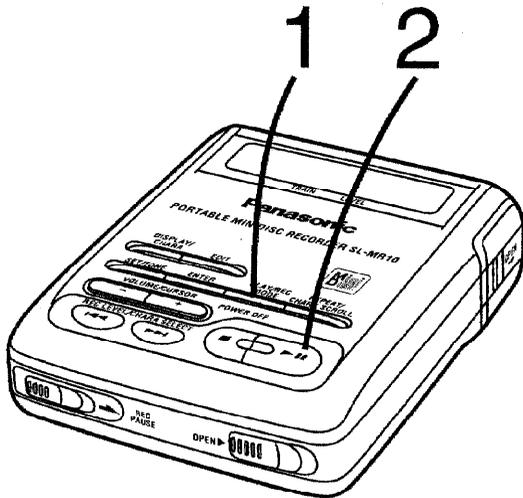
予約数が32曲を越えました。これ以上の予約はできません

■ 予約曲をくり返し聞くには

プログラムプレイの再生前または再生中に、「REPEAT/CHARA SCROLL」を押して“◀”を選ぶ。

順不同に聞く

(ランダムプレイ)



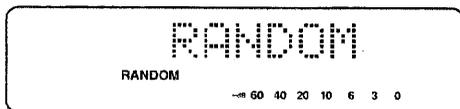
•「▶||」→「■」で停止状態にします。

1 「PLAY/REC MODE」を
押して“RANDOM”を選ぶ

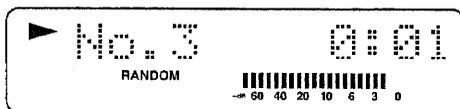
押すたびに

PROGRAM→RANDOM→INTRO

↑ 消灯 (解除) ↓



2 「▶||」を押す



順不同に再生が始まり、全曲の再生が終わると自動停止します。ランダムモードは、別のディスクに入れかえるまでメモリーされています。

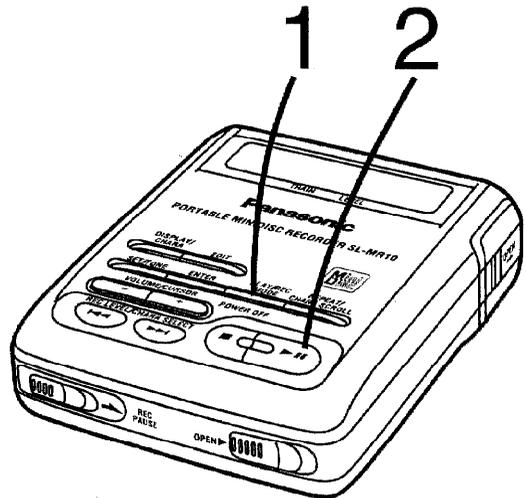
解除するには

停止中に「PLAY/REC MODE」を押して、“消灯”状態にする。

イントロだけ聞く

(イントロプレイ)

全曲の出だしを15秒ずつ再生します。ディスクの曲をひと通り聞いてみるのに便利です。



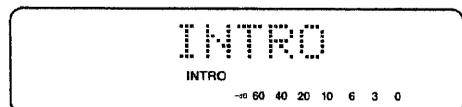
•「▶||」→「■」で停止状態にします。

1 「PLAY/REC MODE」を
押して“INTRO”を選ぶ

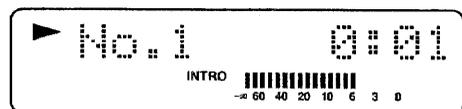
押すたびに

PROGRAM→RANDOM→INTRO

↑ 消灯 (解除) ↓



2 「▶||」を押す

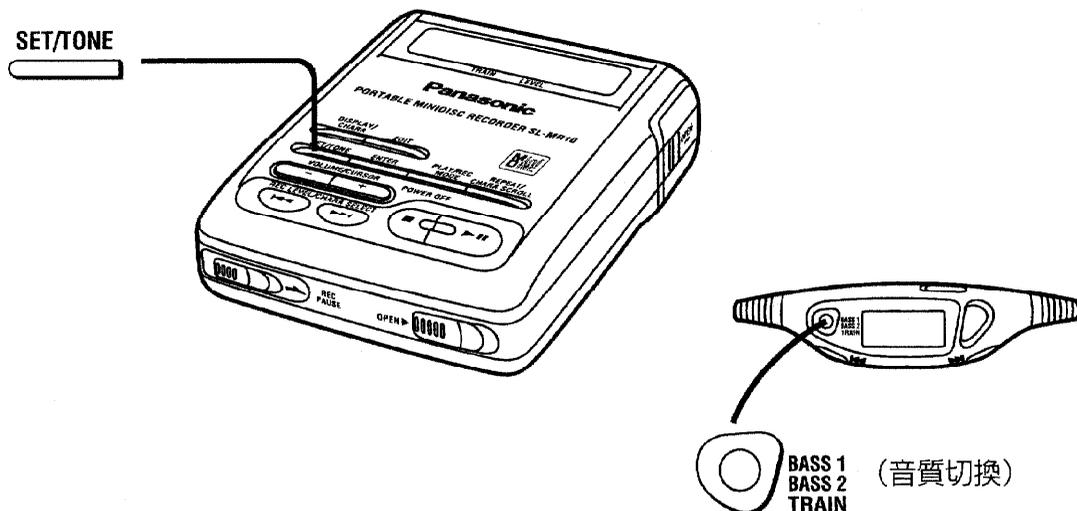


イントロモードは、別のディスクに入れかえるまでメモリーされています。

解除するには

停止中に「PLAY/REC MODE」を押して“消灯”状態にする。

音質を変える



「SET/TONE」を押す

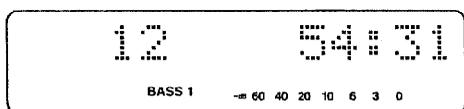
(リモコンのときは音質切換ボタンを押す)

押すたびに

BASS1→BASS2→(Ⓞ) [TRAIN]
↑ 消灯 (解除) ↓

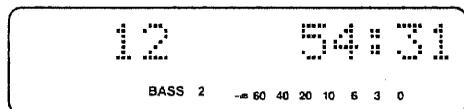
■ BASS 1

低音を少し強調します。



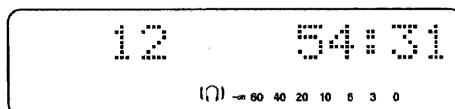
■ BASS 2

低音をさらに強調します。



■ (Ⓞ) TRAIN【電車ポジション】

電車内で、自然な音質で楽しみ、長時間使用したときの聞き疲れをやわらげます。また、周囲に迷惑な音漏れを少なくします。



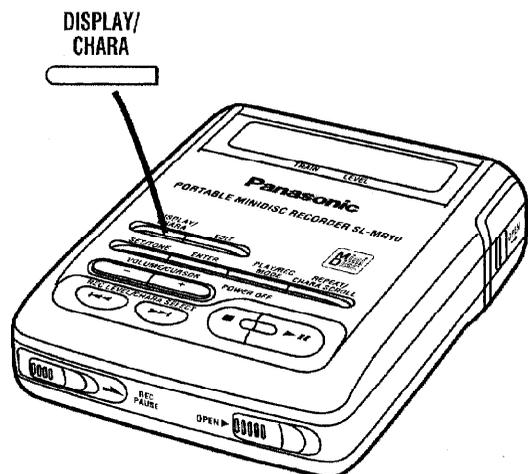
解除するには

「SET/TONE」を押して“消灯”状態にする。

ご注意

- ・音質の効果は再生時のみ有効です。
- ・録音中に音質を切り換えることはできません。
- ・“BASS2”を選んでいて音がひずむときは音量を下げてください。

表示を切り換える



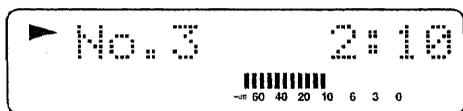
「DISPLAY/CHARA」を押す
 押すたびに、表示内容が変わります。

再生中

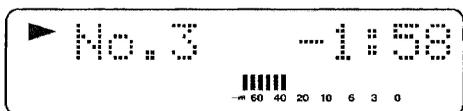
押すたびに
 経過時間 → 曲の残り時間
 ↑ 曲名 ↓

●経過時間

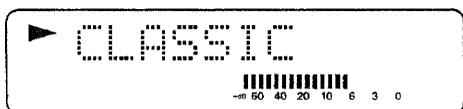
再生中の曲が始まってから経過した時間



●曲の残り時間



●曲名

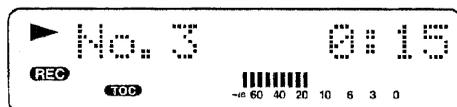


録音中

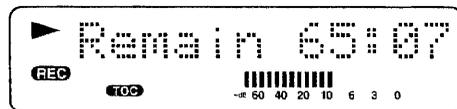
押すたびに
 経過時間 → ディスクの空き時間
 ↑ 録音レベル(アナログ時のみ) ↓

●経過時間

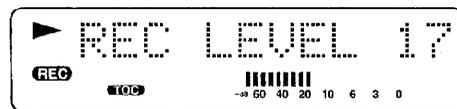
録音中の曲が始まってから経過した時間



●ディスクの空き時間 (Remain)



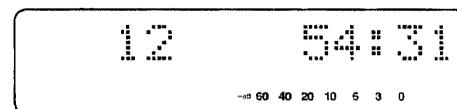
●録音レベル (REC LEVEL)



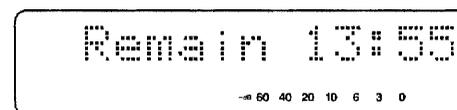
停止中 (電源オン時)

押すたびに
 ↗ 収録曲数と総再生時間 ↘
 ディスクの名前 ← ディスクの空き時間

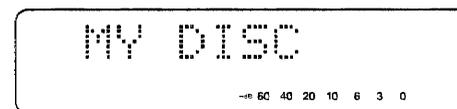
●収録曲数と総再生時間



●ディスクの空き時間 (Remain)



●ディスクの名前

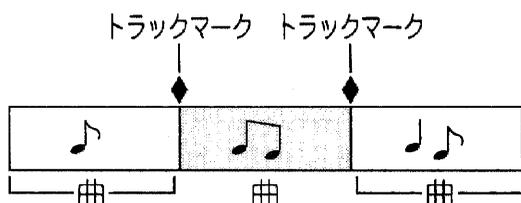


ミニディスクの編集について

ミニディスクには、再生、録音のほかに「編集」という機能があります。編集機能を使うことで、録音した曲（または曲の一部）をつないだり、分割したり、並べかえたりすることができます。

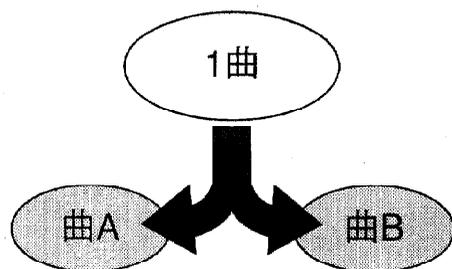
編集とトラックマーク

ミニディスクの編集は、録音時につけたトラックマークを追加・削除することで行います。（トラックマークについては16、17ページを参照）

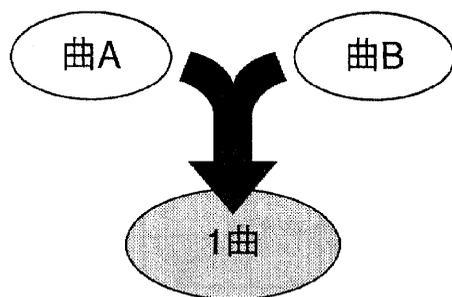


録音時につけたトラックマークは、録音後に付け加えたり、取り除いたりすることができます。

・トラックマークを追加すると
1曲が2つの曲番に分かれます。



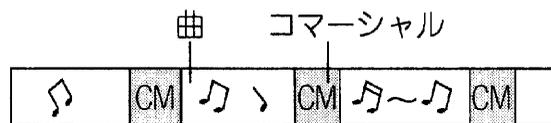
・トラックマークを削除すると
2曲が1つの曲番にまとまります。



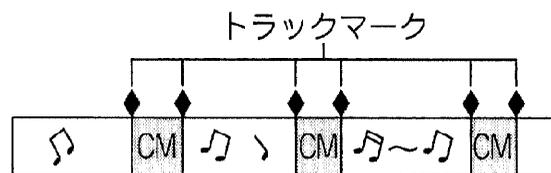
こんなことができます。

たとえばナレーションやCMの入ったFM放送を録音したあと、編集機能を使ってナレーション、CM、曲をトラックマークで区切り、不要な部分を消して、オリジナルMDソフトを作ることができます。

①普通に録音。



②「DIVIDE」で曲と、コマーシャルにトラックマークをつける。

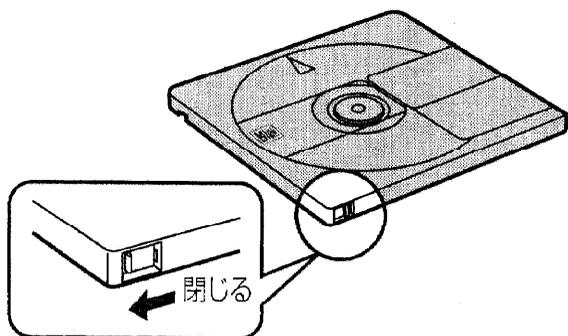


③「ERASE」で、「CM」を消す。

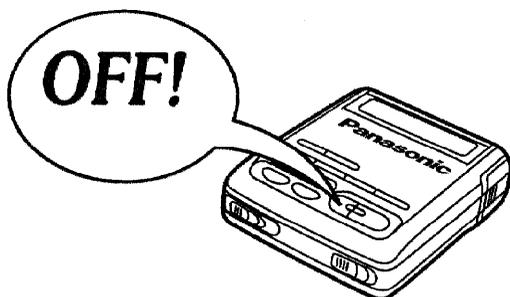


編集上のご注意

編集とは、トラックマークの「記録・消去」といいかえることができます。このため編集するディスクは、あらかじめ誤消去防止つまみを閉じて、編集可能な状態にしておく必要があります。



また、編集した内容は、逐一ディスクに記録されるのではなく、本機の電源オフ時にまとめて記録されるようになっています。このため編集後は必ず本機の電源をオフにしてください。



各編集機能の詳細は次のページをご覧ください。

編集中は、音量調整以外のリモコン操作はできません。

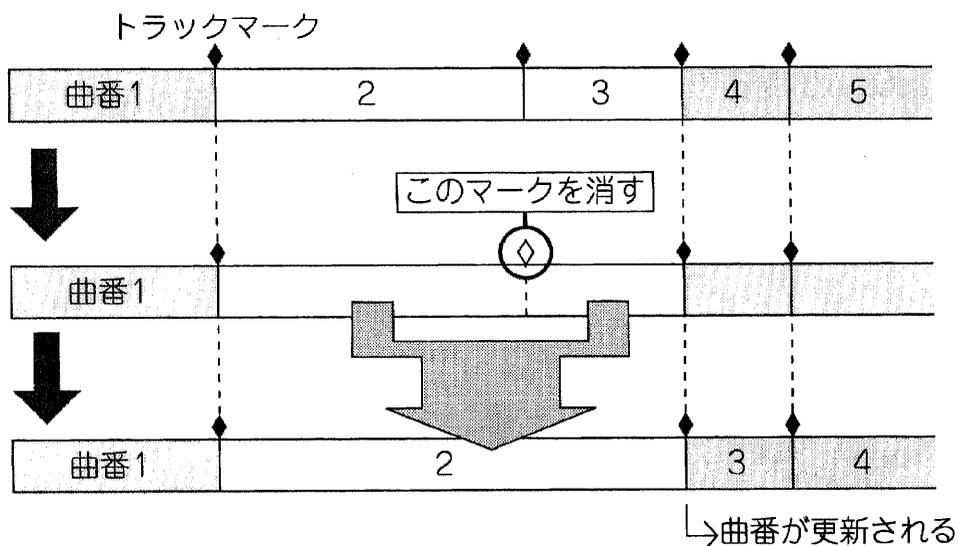


2曲を1つにまとめる

JOIN

36、37ページ

トラックマークを消して、2つの曲を1つにまとめる機能です。
たとえば、クラシックで、楽章ごとに分けていた曲をつないで、1曲として扱えるようにできます。

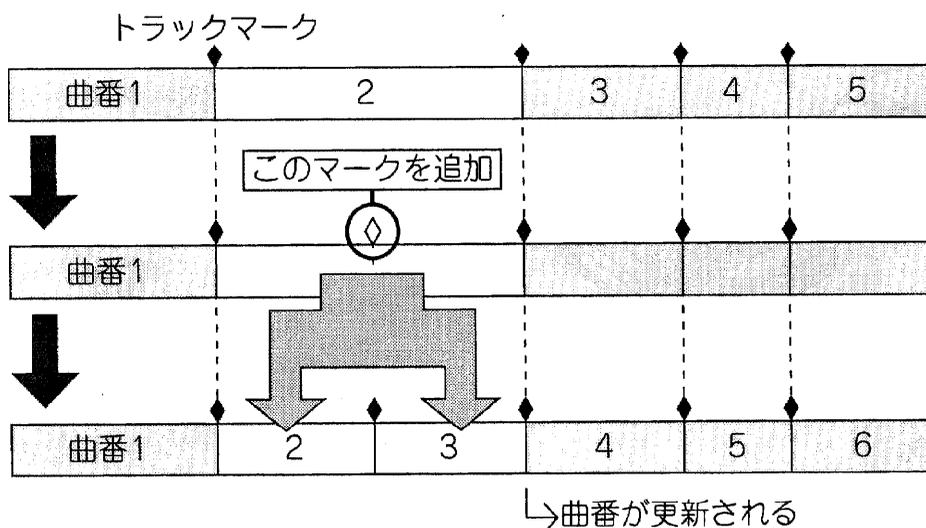


1曲を2つに分ける

DIVIDE

38ページ

トラックマークを追加して、曲を2つに分ける機能です。
たとえば、クラシックを1曲普通に録音したあと、楽章ごとに分けて、頭出しができるようになります。



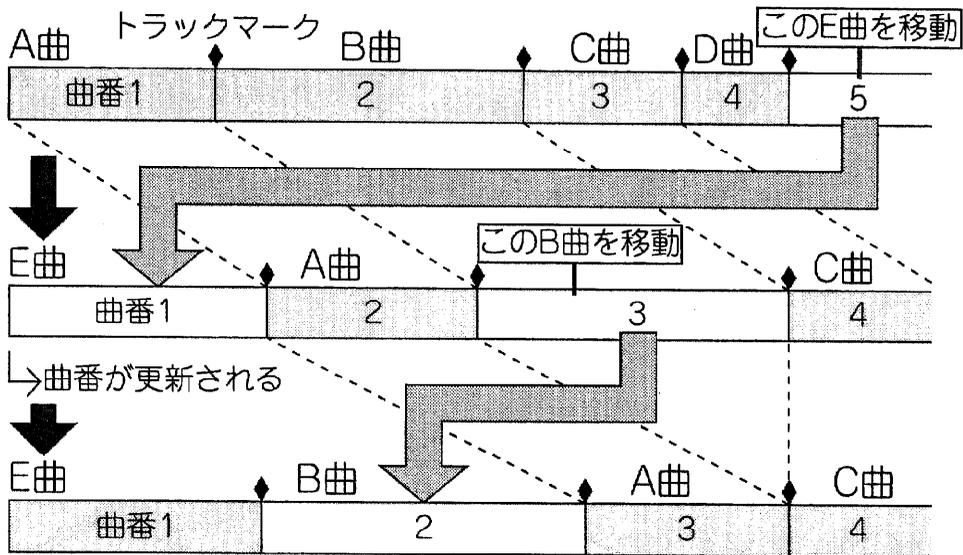
曲を並べかえる

RENUMBER

39 ページ

曲を好きな順序に並べかえる機能です。

「RENUMBER」による曲の並べかえは、ミニディスク自体に記録されますので、プログラムプレイと異なり、解除すると元に戻るといったものではありません。



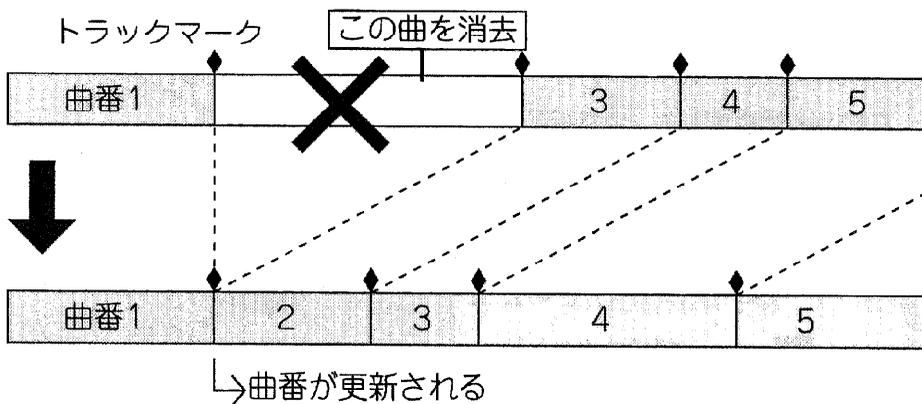
録音した曲を消す

ERASE

40、41
ページ

不要な曲（または全曲）を消す機能です。

消されたあとは無音部分が残るのではなく、後ろの曲が次々につめられ、自動的に曲番も1つずつ減ります。



2曲を1つにまとめる (JOIN)

頭出しが不要になった位置から、トラックマークを取り除きます。

- 準備) 1. 誤消去防止つまみは閉じておきます。(45 ページ)
2. 「▶||」 → 「■」で停止状態にします。

1 「EDIT」を押して “JOIN”を選ぶ

押すたびに

JOIN → DIVIDE → RENUMBER

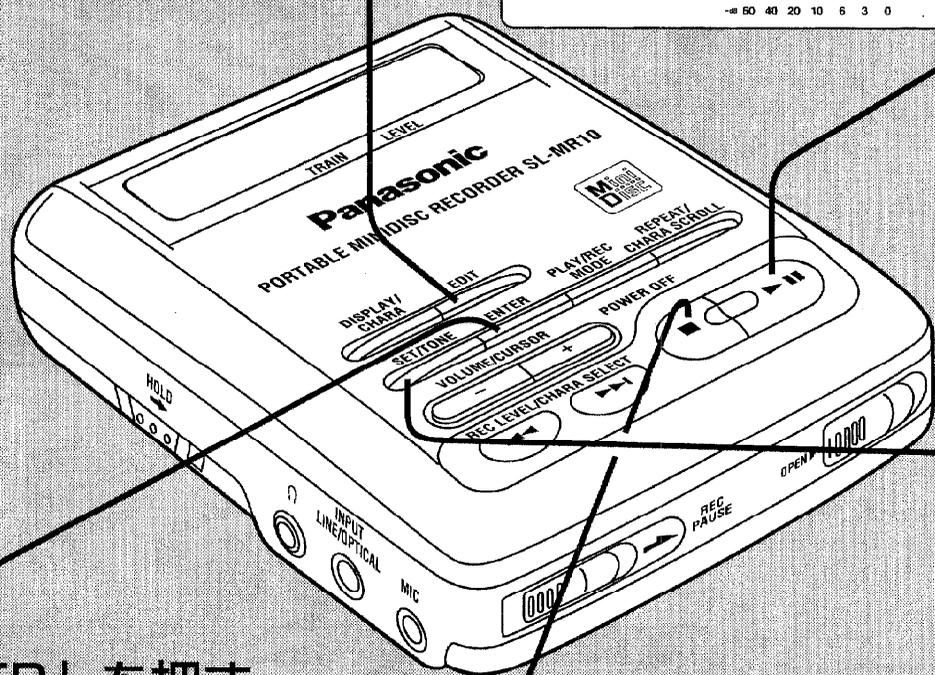
↑
通常表示 (解除)

↓
ERASE

↑ DISC TITLE ← ALL ERASE ←

JOIN

→ 60 40 20 10 6 3 0



4 「ENTER」を押す

“Complete”表示のあと、

8 51:22

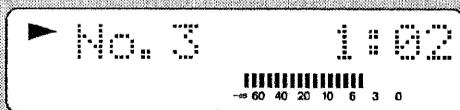
TOP → 60 40 20 10 6 3 0

5 電源を切る

編集内容がまとめてディスクに記録されます。

2 曲を再生する

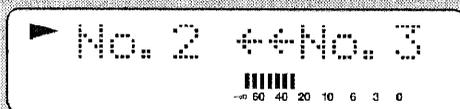
たとえば曲番2と3を1つにまとめたいときは、曲番3を再生します。



同じ曲がくり返し再生されます。

3 「SET/TONE」を押す

曲のどの位置で押しても構いません。



2つの曲が1つにまとまり、小さいほうの曲番がつきます。

曲番をまちがえたら

「ENTER」を押す前なら、取り消せます。「■」を押してから、曲番を選びなおしてください。

編集をやめるには

「EDIT」を押して、“通常表示”状態にします。

元に戻すには

DIVIDE 機能で1曲を2つに分けます。(38ページ)

ご注意

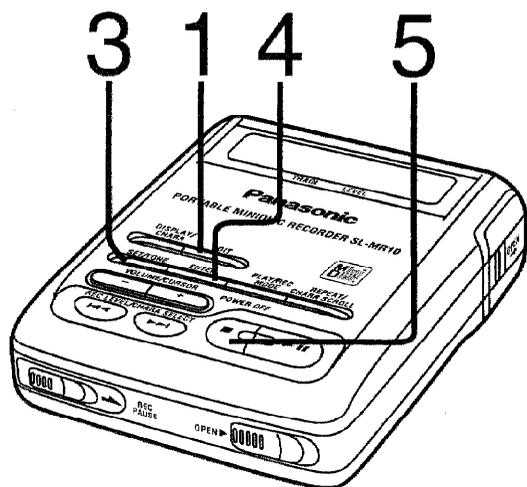
2秒以下の短い曲を、1つにまとめることはできません。

1 曲を2つに分ける (DIVIDE) ディバイド

頭出しの必要な位置にトラックマークをつけます。

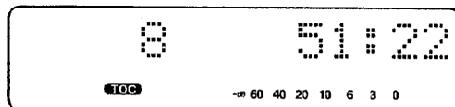
準備) 1. 誤消去防止つまみは閉じておきます。(45 ページ)

2. 「▶||」 → 「■」 で停止状態にします。



4 「ENTER」 を押す

“Complete” 表示のあと、



5 電源を切る

編集内容がまとめてディスクに記録されます。

1 「EDIT」で“DIVIDE”を選ぶ

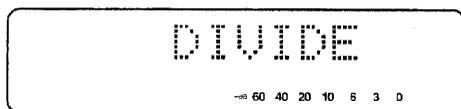
押すたびに

JOIN → DIVIDE → RENUMBER

↑
通常表示 (解除)

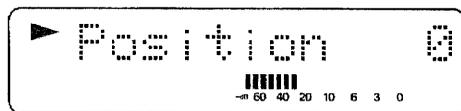
↓
ERASE

↑ DISC TITLE ← ALL ERASE ← ↓



2 2つに分けたい曲を再生する
同じ曲がくり返し再生されます。

3 分けたい位置で、「SET/TONE」を押す



トラックマークが追加され、曲番が1つ増えます。分けた位置からの4秒間がくり返し再生されますので、位置がずれているときは再調整してください。(右記参照)

分けた位置を再調整するには

手順3のあと、「VOLUME/CURSOR (+ または-)」でトラックマークの位置を動かします。押すたびに Position が2つずつ (0.128秒) 増減します。前後約8秒 (-128 ~ 128) の範囲で調整できます。

曲番をまちがえたら

「ENTER」を押す前なら取り消せます。「■」を押してから曲番を選びなおしてください。

編集をやめるには

「EDIT」を押して“通常表示”状態にします。

元に戻すには

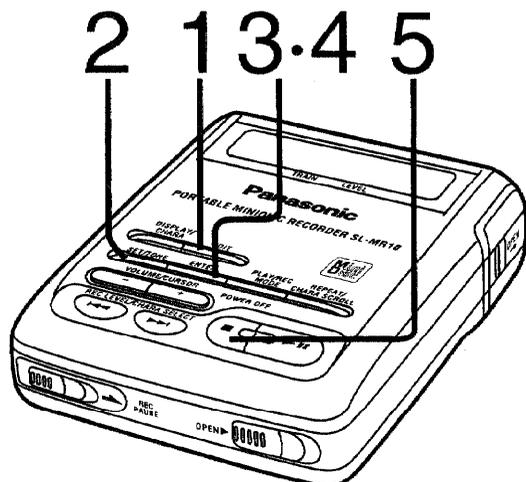
JOIN 機能で2曲を1つにまとめます。(36、37ページ)

曲を並べかえる (RENUMBER)

曲を好みの再生順に並べかえることができます。(12曲まで)

準備) 1. 誤消去防止つまみは閉じておきます。(45ページ)

2. 「▶||」 → 「■」で停止状態にします。



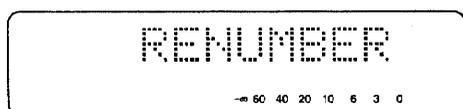
1 「EDIT」で“RENUMBER”を選ぶ

押すたびに

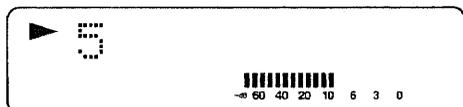
JOIN → DIVIDE → RENUMBER

↑
通常表示 (解除) ERASE ↓

↑ DISC TITLE ← ALL ERASE ←



2 ①曲番1にしたい曲を再生し「SET/TONE」を押す



②曲番2にしたい曲を再生し「SET/TONE」を押す

③同様の操作で曲番を変える
選ばなかった曲は、選んだ曲の
後に移ります。

3 「ENTER」を押す

▶ Enter again

操作しないでも10秒後に
中止され“Enter again”が消
えます。

4 もう一度「ENTER」を押す

5 電源を切る

編集内容がまとめてディスクに
記録されます。

■“MEMORY FULL PUSH ENTER” と表示されたら

変更できる曲数を超過しています。
「ENTER」を押して元に戻してくだ
さい。

曲番をまちがえたら

手順4で「ENTER」を押す前なら
取り消せます。「■」を押してから曲
番を選びなおしてください。

編集をやめるには

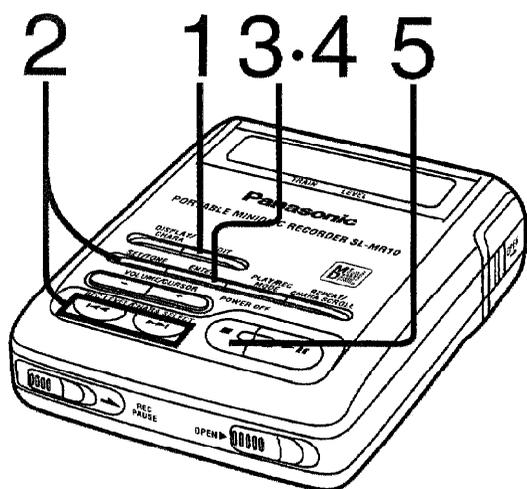
「EDIT」を押して“通常表示”状態
にします。

録音した曲を消す

準備) 誤消去防止つまみは閉じておきます。(45 ページ)

選んだ曲だけを消す (ERASE) イレース

あらかじめ各曲に曲番をつけておけば、消したい曲を曲番で選べます。(12 曲まで)



1 再生中に「EDIT」で「ERASE」を選ぶ

押すたびに

JOIN→DIVIDE→RENUMBER



通常表示 (解除)

ERASE



DISC TITLE←ALL ERASE←



2 消したい曲を選び、「SET/TONE」を押す



手順 2 をくり返して、消したい曲を選びます。

3 「ENTER」を押す

“Enter again” 表示が出ます。

中止するには「■」を押します。操作しないでも 10 秒後に中止され “Enter again” が消えます。

4 もう一度「ENTER」を押す

“Complete” 表示が出ます。

5 電源を切る

編集内容がまとめてディスクに記録されます。

■“TRACK PROTECTED” と表示されたら

他の機器によって、その曲は誤消去防止になっています。消すときは「SET/TONE」を押します。

■“MEMORY FULL PUSH ENTER” と表示されたら

消せる曲数を超えています。「ENTER」を押して元に戻してください。

曲番をまちがえたら

手順 4 で「ENTER」を押す前なら取り消せます。「■」を押してから曲番を選びなおしてください。

編集をやめるには

「EDIT」を押して “通常表示” 状態にします。

名前をつける (タイトル)

ディスクや曲に名前をつけることができます (最大 32 文字まで)。

例: ディスクに「MY DISC」と名前をつけます。

準備) 誤消去防止つまみは閉じておきます。(45 ページ)

■ディスクに名前をつけるとき

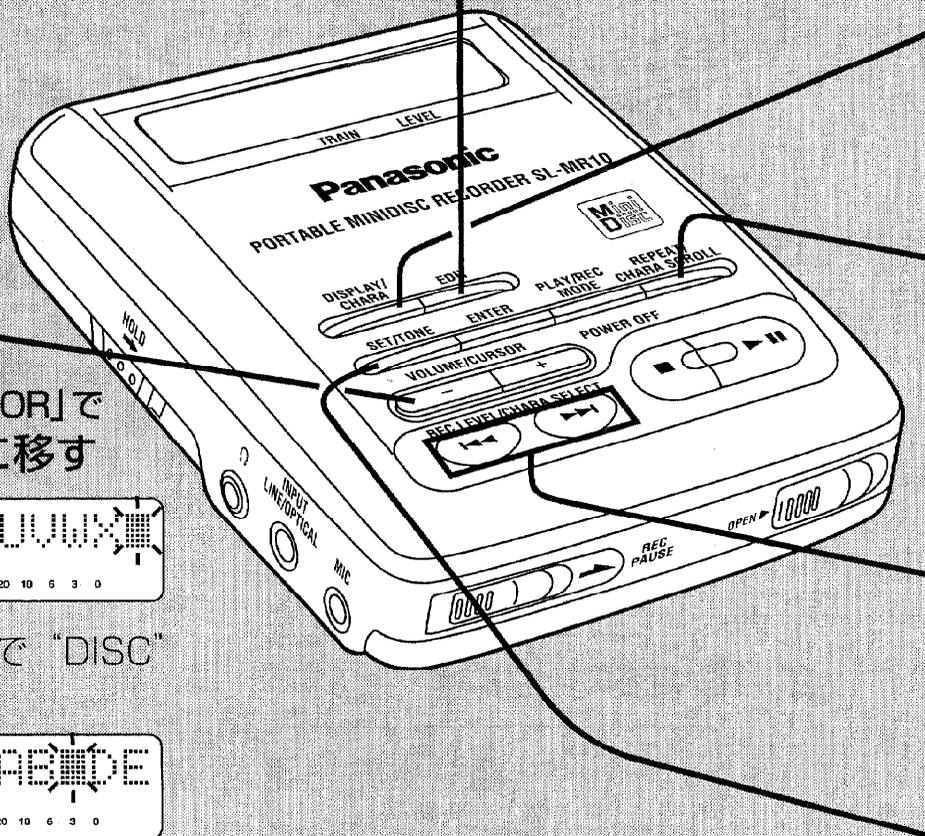
「▶||」→「■」で停止状態にする。

■曲に名前をつけるとき

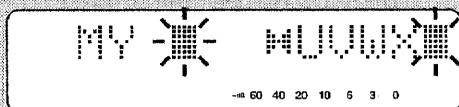
その曲を再生する。

1 「EDIT」を押して “DISC TITLE” を選ぶ

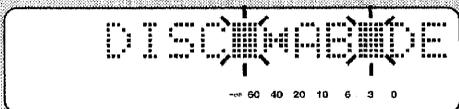
曲に名前をつけるときは
“TRACK TITLE” を選ぶ。



5 「VOLUME/CURSOR」で カーソルを右に移す



手順3と同じ操作で“DISC”
と入力します。



6 「ENTER」を押す

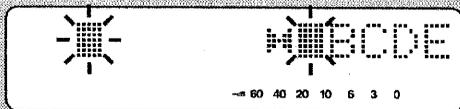
7 「■」を押して 電源を切る

編集内容がまとめてディスク
に記録されます。

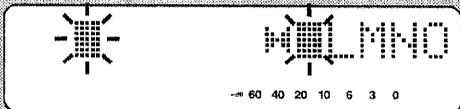
2 「DISPLAY/CHARA」で “英大文字”を選ぶ

押すたびに

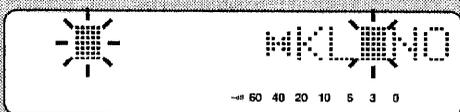
カタカナ→英大文字
↑
数字←英小文字



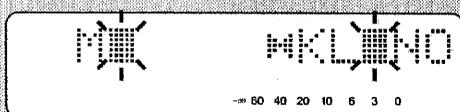
3 ①「REPEAT/CHARA SCROLL」で “KLMNO”を選ぶ



②「|◀▶|」を押して、
“M”を選ぶ



③「SET/TONE」を押す



4 手順3と同じ操作で “Y”を入力する

■使える文字の種類について

カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ	ヲ	ン		
ア	イ	ウ	エ	オ
ヤ	ユ	ヨ	ツ	
空白	—	°	”	

英大文字

A	B	C	D	E
F	G	H	I	J
K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y
Z				
空白	!	”	#	\$
%	&	'	()
*	+	.	-	.
/	:	;	<	=
>	?	@	_	`

数字

0	1	2	3	4
5	6	7	8	9

英小文字

a	b	c	d	e
f	g	h	i	j
k	l	m	n	o
p	q	r	s	t
u	v	w	x	y
Z				
空白	!	”	#	\$
%	&	'	()
*	+	.	-	.
/	:	;	<	=
>	?	@	_	`

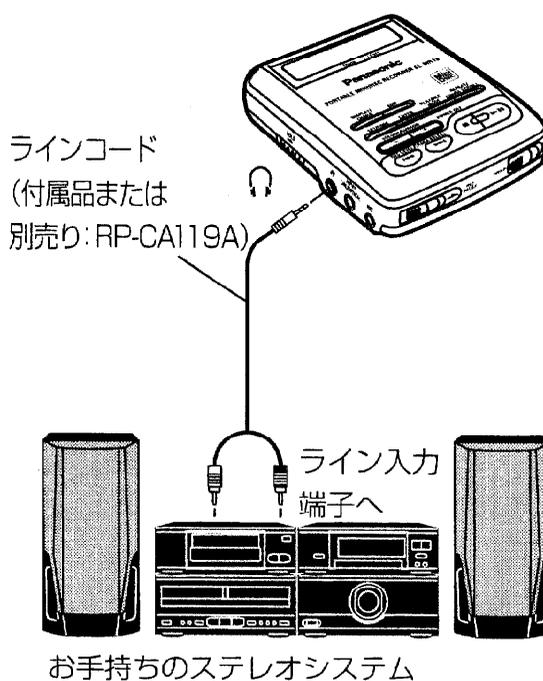
文字を訂正するには

- 1 「EDIT」を押して、「DISC TITLE」または「TRACK TITLE」を選ぶ。
- 2 「VOLUME/CURSOR (+または-)」で、直す文字にカーソルを合わせる。
- 3 「■」を押して、文字を消す。
(文字を消すだけのときは、手順7にすすみます)
- 4 「VOLUME/CURSOR (+または-)」で、挿入したい位置にカーソルを合わせる。
- 5 「◀◀」または「▶▶」で、文字にカーソルを合わせる。
- 6 「SET/TONE」を押して入力する。
- 7 「ENTER」を押す。
- 8 「■」を押して、電源を切る。

他の機器と組み合わせて使う

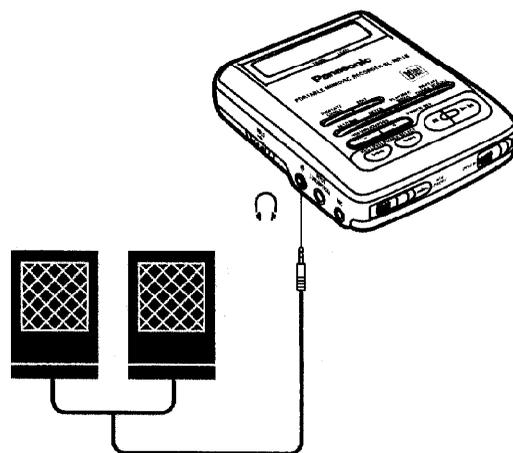
接続する機器の説明書をあわせてご覧ください。

■ステレオシステムと接続する



- ・アンプ側がミニホンジャックのときは、ラインコード (別売り: RP-CA102A) をお求めください。

■アンプ内蔵スピーカーと接続する



アンプ内蔵型ステレオスピーカー (別売り)

ミニディスクについて

■ミニディスクは2種類

ミニディスクには、録音のできない「再生専用MD」と、録音可能な「録音用MD」の2種類があります。

光で信号を読みとるという再生方式は同じですが、信号の記録方式が次のように異なります。

再生専用MD

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。

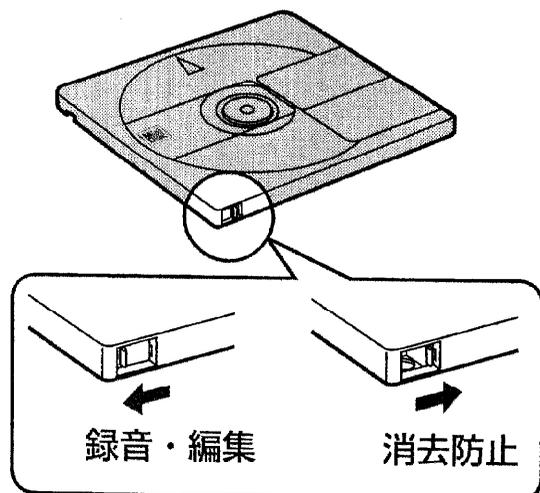
CDと同様のこの方式のディスクを「光ディスク」といいます。

録音用MD

磁気によってデータが記録されます。この方式のディスクを「光磁気ディスク」といいます。

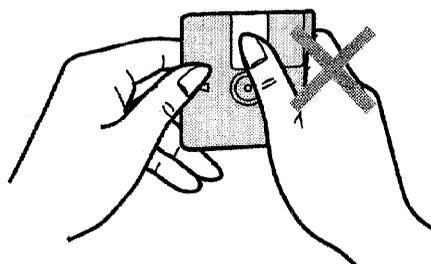
■大切な録音を消さないために (誤消去防止つまみ)

録音用MDには、大切な録音を間違っ
て消さないための、誤消去防止つま
みがついています。録音や編集が終
わったら、カートリッジの誤消去防
止つまみを開いた状態にしておきま
す。録音や編集をし直すときは、閉
じた状態に戻してください。



■美しい音を保つために シャッターは開けないで

万一シャッターが開いてしまったと
ときには、すぐに閉めてください。中
のディスクには直接触れないでくだ
さい。



置き場所に気をつけて

次のようなところには置かないでく
ださい。

- ・直射日光が当たる場所や、車中
などの温度の高い場所
- ・風呂場など、湿度の高い場所
- ・海辺や砂場など、砂ぼこりが多い
場所

お手入れ

カートリッジに、ほこりやごみがつ
いたときは、乾いたやわらかい布で
ふき取ってください。



ミニディスクとしての制約

ミニディスクは、カセットテープやDATとは異なる方式で情報を記録しています。この方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状が出る場合があります。

症 状	原 因
ディスクの最大録音時間に満たないのに「DISC FULL」が表示される。	録音時間に関係なく、255曲以上は録音できません。
曲数や録音時間が最大ではないのに「DISC FULL」が表示される。	部分録音／部分消去をくり返したディスクに録音すると、データとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。
JOIN機能が使えない場合がある。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り・早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、ディスクの最大録音時間にならない。	ミニディスクは2秒以下の音声を録音するにも、約2秒間のディスク領域を使うため、残り時間より、実際に録音できる時間は少なくなります。

故障かな！？

修理を依頼する前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
操作できない。	ホールド状態になっていませんか。	HOLDつまみを動かしてホールドを解除する。	15
	ディスクが入っていますか。	ディスクを入れる。	9
	ACアダプターが適切に接続されていますか。	ACアダプターを接続しなおす。	12
	バッテリーが消耗していませんか。	充電する。または乾電池を交換する。	12,13
再生できない。	録音したディスクが入っていますか。	曲の入っているディスクに入れかえる。	
録音できない。	再生専用ディスクが入っていませんか。	録音用ディスクに取りかえる。	
	誤消去防止状態になっていませんか。	ディスクの誤消去防止つまみを閉じる。	45
	接続をまちがえていませんか。	正しく接続しなおす。	18,19
	録音レベルが低すぎませんか。	録音レベルを調整する。	23
	マイクが接続されていませんか。	マイク録音以外のときはマイクを抜いておく。	24
インサイドホンから音が出ない。	音量が小さすぎませんか。	音量を調整する。	11
雑音が入る。インサイドホンのプラグを回すと、ジャリと音がする。	プラグが汚れていませんか。	プラグをきれいにふく。	
ディスク名や曲名の表示が途切れる。または表示されない。	ディスクに記録できる文字数(英数記号で1785文字。カナはその約半分)を超えていませんか。	文字数の少ない名前につけなおす。	

使用中、本体の底面があたたかくなりますが、故障ではありません。

ボタン操作ができないときは!?

いったん充電式電池パックを抜き、再度入れなおしてから、改めて操作してください。

こんな表示が出たときは？

状態表示

表示

意味

本体

[ALL ERASE]	オール・イレース・モードに切り換わりました。
[BLANK DISC]	何も録音されていないディスクが入っています。
[CHARGE]	充電中です。
[Complete]	編集操作の結果を処理中です。
[DISC TITLE]	ディスクタイトル入力モードに切り換わりました。
[DIVIDE]	ディバイド・モードに切り換わりました。
[Enter again]	もう一度「ENTER」を押してください。
[ERASE]	イレース・モードに切り換わりました。
[HOLD]	ホールド状態になっています。
[INTRO]	イントロ・モードに切り換わりました。
[JOIN]	ジョイン・モードに切り換わりました。
[NO DISC]	ディスクが入っていません。
[NO TITLE]	ディスク／曲に名前がついていません。
[OPEN]	ふたが開いています。
[PROGRAM]	プログラム・モードに切り換わりました。
[RANDOM]	ランダム・モードに切り換わりました。
[RENUMBER]	リナンバー・モードに切り換わりました。
[TOC Reading]	TOCを読み込んでいます。
[TRACK TITLE]	曲名入力モードに切り換わりました。
[UTOOC Writing]	UTOOCに書き込んでいます。

リモコン

[Edit]	編集モード中です。
[nO dISC]	ディスクが入っていません。
[OPEn]	ふたが開いています。
[REAd]	TOCを読み込んでいます。
[REc]	録音モード中です。

エラー表示

表示

意味

本体

- [BATT ERROR] 電池の寿命で使えなくなっています。
- [CANNOT JOIN] この組み合わせでは曲をつなげません。
- [DIGITAL IN] → [UNLOCK]
44.1kHz以外のサンプリング周波数でデジタル入力録音しようとした。
- [DISC] → [PROTECTED]
ディスクが誤消去防止状態になっています。
- [DISC ERROR] (U)TOCが読めません。または、(U)TOCにエラーがあります。
- [DISC FULL] ディスクの空き時間が足りません。または、曲番が254を超えています。
- [EMERGENCY] → [STOP]
録音中に異常が発生しました。
- [MEMORY FULL] → [PUSH ENTER]
リナンバーで13曲以上を指定しました。または、イレースで13曲以上を指定しました。
- [NON-AUDIO] → [CANNOT COPY]
CD-ROMをデジタル入力で録音しようとした。
- [NOW EDITING] 編集途中に、「■、POWER OFF」で電源を切ろうとした。
- [Playback DISC] 再生専用ディスクに、録音／編集操作をしています。
- [SCMS] → [CANNOT COPY]
デジタル入力録音で、コピーのコピーは作れません。
- [TEMP OVER] 周囲の温度が高すぎるか、低すぎます。
- [TRACK] → [PROTECTED]
曲が誤消去防止状態になっています。

リモコン

- [Err] (U)TOCが読めません。または、エラーがあります。

⚠ 危険

充電式電池パックについて

以下のことを守り正しく取り扱う

- ・ 取り扱いを誤ると、電池の発熱や破裂、発火により、火災やけがの原因になります。
- ・ 異常を感じた場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。



- ・ 充電式電池パックは、付属の電池を使う
- ・ 充電式電池パックを充電するときは、付属の AC アダプターを使う
- ・ 充電式電池パックを、本機以外に使用しない
- ・ ⊕ と ⊖ をショートさせない
- ・ ストーブの近くなど高温の所で充電したり、放置したりしない
- ・ ネックレスなどの金属物といっしょに携帯・保管しない
- ・ 分解や加熱、火の中へ投入したり、衝撃を与えない

充電式電池パック使用上のご注意

- ・ お買い上げ時や長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してください。
- ・ 充電やご使用時の温度範囲は 10～30℃です。これ以外の温度で使用すると、電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
- ・ 充電中、本機が熱を持ちますが異常ではありません。
- ・ 充電しても電池持続時間が極端に短い場合は、寿命です。新しい充電式電池パックをお求めください。
- ・ 不要になった充電式電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁した状態で処分してください。
- ・ 端子カバーのシャッターを開けないでください。

注意

乾電池について

以下のことを守り正しく取り扱う

- ・ 取り扱いを誤ると、電池の液漏れより、火災や感電、周囲汚損の原因になります。
- ・ 万一液漏れが起こったら、販売店にご相談ください。
- ・ 液が身体についてときは、水でよく洗い流してください。



- ・ ⊕ と ⊖ を正しく入れる
 - ・ 指定の電池を使う
 - ・ 長期間使用しないときは、取り出しておく
 - ・ 充電しない
 - ・ 分解、加熱したり、火や水の中に入れてたりしない
 - ・ ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- 付属の乾電池ケースに、乾電池を入れている場合も同様です

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

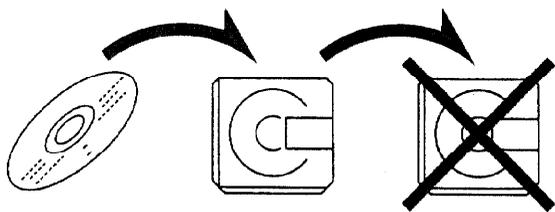
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先
(社) 私的録音補償金管理協会
電話 03-3506-8407

デジタル入力録音の決まり

CDなどからデジタル入力で録音されたミニディスクには、著作権への配慮から次のような決まりがあります。

■SCMS (シリアル・コピー・マネジメント・システム)



ミニディスクは、CDなどと、互いのデジタル入出力端子を通して、劣化の少ないクリアな音をそのまま録音することができます。ただし、こうして録音されたミニディスクを他のミニディスクに再びデジタル入出力端子を通して録音することはできないようになっていました。つまり、「コピーのコピー」を作ることができません。この決まりを「SCMS (シリアル・コピー・マネジメント・システム)」といいます。

本機は、この決まりに準拠して設計されています。なお「コピーのコピー」を作ろうとすると、エラーメッセージ「SCMS CANNOT COPY (コピー禁止)」が表示されます。

お手入れ

本体

柔らかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

アルコールやシンナーは使わないでください。

化学ぞうきんをご使用のときは、その説明書をご覧ください。

定格

形式：ミニディスクデジタルオーディオシステム

記録方式：磁界変調オーバーライト方式

読み取り方式：半導体レーザー（ $\lambda = 780\text{nm}$ ）による非接触光学式

サンプリング周波数：44.1kHz

圧縮/伸長方式：ATRAC方式

チャンネル数：2チャンネル ステレオ

周波数特性：20Hz～20,000Hz（ $\pm 3\text{dB}$ ）

ワウフラッター：測定限界以下

■入力端子：アナログ2系統（ステレオミニ）、デジタル1系統（光ミニ）

[INPUT LINE/OPTICALは兼用ジャックです]

INPUT LINE 端子

入カインピーダンス：50k Ω

最小入力レベル：70mV

MIC 端子

入カインピーダンス：1k Ω

最小入力レベル：0.8mV

■出力端子：アナログ1系統（ステレオミニ）

ヘッドホン端子

負荷インピーダンス：16 Ω

出力レベル：10mW + 10mW

■電源

AC電源（ACアダプター）

：AC100V、50/60Hz、DC6V

充電式リチウムイオン電池パック

：DC3.6V

アルカリ乾電池：DC6V

カー電源アダプター：DC4.5V

電池持続時間	連続再生時	連続録音時
充電式電池パック	約3時間40分	約3時間
アルカリ乾電池	約4時間30分	約3時間30分
充電式電池パック+アルカリ乾電池	約8時間	約6時間30分

消費電力（ACアダプター）

：4.9W（再生時）

最大外形寸法：84.7（W）×31.1（H）×109.5（D）mm

本体寸法：84.0（W）×29.8（H）×107.6（D）mm

質量（重量）：約300g（電池パック含む）

電源「切」時の消費電力（ACアダプター）：約2.5W

電池持続時間は、使用条件により短くなることがあります。

この定格は、性能向上のため変更することがあります。

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場
合は・・・

- ・修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！
- ・その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、内容をよくお読みのあと、保存してください。

保証期間 - お買い上げ日から1年間

■修理を依頼されるときは

47ページの「故障かな!？」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず、ACアダプターを抜いて、お買い上げ販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後8年間保有しています。

注) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

北 海 道 地 区

<p style="text-align: center;">お客様ご相談センター</p> <p>北海道 ☎ 011(221)8090 札幌市中央区北三条西1丁目</p>	<p style="text-align: center;">修理相談窓口</p> <p>札幌 ☎ 011(894)1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17の7</p> <p>旭川 ☎ 0166(31)6151 旭川市2条通21丁目左1号</p>	<p>帯広 ☎ 0155(33)8477 帯広市西19条南1丁目7の11</p> <p>函館 ☎ 0138(53)7107 函館市山の手1丁目1の15</p>
--	---	---

東 北 地 区

<p style="text-align: center;">お客様ご相談センター</p> <p>東北 ☎ 022(263)4208 仙台市青葉区国分町3丁目1の11</p>	<p style="text-align: center;">修理相談窓口</p> <p>青森 ☎ 0177(39)9712 青森市大字ハッ役字矢作1の37</p> <p>八戸 ☎ 0178(45)8665 八戸市城下4丁目22の25</p> <p>弘前 ☎ 0172(34)6006 弘前市代官町86</p> <p>秋田 ☎ 0188(26)1600 秋田市御所野湯本2丁目1の2</p> <p>大館 ☎ 0186(42)0815 大館市片山町2丁目3の6</p>	<p>横手 ☎ 0182(32)1752 横手市横手町字一の口3</p> <p>盛岡 ☎ 0196(47)1741 盛岡市上堂1丁目18の22</p> <p>水沢 ☎ 0197(24)7999 水沢市中田町5の10</p> <p>仙台 ☎ 022(375)2512 仙台市泉区市名坂字清水端59の2</p> <p>古川 ☎ 0229(23)8121 古川市北町5丁目1の1</p> <p>石巻 ☎ 0225(96)3209 石巻市元倉1丁目16の2</p> <p>仙南 ☎ 0224(52)1842 宮城県柴田郡大河原町字錦町6の15</p> <p>山形 ☎ 0236(41)8100 山形市流通センター3丁目12の2</p>	<p>酒田 ☎ 0234(26)5802 酒田市東両羽町7の15</p> <p>鶴岡 ☎ 0235(22)3285 鶴岡市宝田1丁目1の12</p> <p>新庄 ☎ 0233(22)7166 新庄市小田島町5の40</p> <p>米沢 ☎ 0238(22)7141 米沢市金池8丁目3の13</p> <p>郡山 ☎ 0249(45)4463 郡山市安積町荒井字大久保39の1</p> <p>福島 ☎ 0245(34)9121 福島市御山字一本木77の1</p> <p>いわき ☎ 0246(34)5810 いわき市平中神谷字下知内59の4</p> <p>会津 ☎ 0242(22)6221 会津若松市町北町大字始字深町10</p>
--	--	---	---

International Customer Care Center (海外ご相談センター)

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品 (輸出製品・海外生産品・ツーリスト製品) についてのご相談は....

<p>TOKYO ☎ 03-3256-5444 AKIHABARA 1-8-1 Sotokanda 秋葉原 Chiyoda-ku Tokyo</p>	<p>OSAKA ☎ 06-645-8787 NIPPOMBASHI 4-10-2 Nippombashi 日本橋 Naniwa-ku Osaka</p>
--	---

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス (つづき)

首都圏地区

お客様ご相談センター

首都圏 ☎ 03(3435)9521
東京都港区芝公園
1丁目1の2

修理相談窓口

宇都宮 ☎ 0286(32)8450
宇都宮市中央1丁目
8の13

高崎 ☎ 0273(52)1217
高崎市萩原町沖中
205の18

両毛 ☎ 0276(25)6870
太田市東新町244の1

水戸 ☎ 0292(25)0119
水戸市柳河町309の2

つくば ☎ 0298(55)7860
つくば市梅園2丁目
1の13

埼玉 ☎ 048(728)8960
桶川市赤堀2丁目4の2

千葉 ☎ 043(251)3537
千葉市稲毛区園生町
369の1

木更津 ☎ 0438(25)1125
木更津市貝渕4丁目
17の8

銚子 ☎ 0479(33)2723
銚子市野尻町1854

船橋 ☎ 0473(34)5111
船橋市本中山6丁目
11の7

柏 ☎ 0471(63)8905
柏市北柏1丁目7の6

東京 ☎ 03(5477)9780
東京都世田谷区経堂
5丁目26の8

甲府 ☎ 0552(22)5171
甲府市下飯田2丁目
1の27

横浜 ☎ 045(743)7090
横浜市保土ヶ谷区
狩場町169

新潟 ☎ 025(286)0171
新潟市東明1丁目
8の14

佐渡 ☎ 0259(23)2898
両津市秋津字境
108の1

長岡 ☎ 0258(28)2111
長岡市寺島町308の12

上越 ☎ 0255(44)6871
上越市大字藤野新田
字大割353の3

中部地区

お客様ご相談センター

中部 ☎ 052(951)3167
名古屋市東区泉1丁目
23の30

修理相談窓口

石川 ☎ 0762(94)2683
石川県石川郡野々市町
稻荷3丁目80

富山 ☎ 0764(32)8705
富山市寺島1298

福井 ☎ 0776(54)5606
福井市開発4丁目112

松本 ☎ 0263(58)0073
松本市大字笹賀
7600の7

静岡 ☎ 054(287)9000
静岡市西島765

名古屋 ☎ 052(614)3136
名古屋市南区
西又兵衛町3の48

岐阜 ☎ 058(323)6010
岐阜県本巣郡北方町
高屋太子2丁目30

高山 ☎ 0577(33)0613
高山市花岡町3丁目82

三重 ☎ 0592(55)1380
久居市森町字北谷
1920の3

関西地区

お客様ご相談センター

関西 ☎ 06(949)2050
大阪市中央区城見
2丁目1の61

修理相談窓口

滋賀 ☎ 0775(82)5021
守山市勝部町260

京都 ☎ 075(672)9636
京都市南区
上鳥羽石橋町20の1

大阪 ☎ 06(359)6225
大阪市北区本庄西
1丁目1の7

奈良 ☎ 07435(9)2770
大和郡山市椎木町
404の2

和歌山 ☎ 0734(75)1311
和歌山市中島499の1

神戸 ☎ 078(612)5035
神戸市長田区上池田
5丁目5の23

中 国 地 区

お客様ご相談センター		中国 ☎ 082(242)9511 広島市中区国泰寺町 2丁目3の23	出雲 ☎ 0853(21)3133 出雲市渡橋町416	福山 ☎ 0849(53)8115 福山市卸町2の14
修理相談窓口		鳥取 ☎ 0857(26)9695 鳥取市安長295の1	浜田 ☎ 0855(22)6629 浜田市下府町327の93	尾道 ☎ 0848(20)2401 尾道市東尾道11の22
米子 ☎ 0859(34)2129 米子市米原4丁目2の33	岡山 ☎ 086(292)1162 岡山県都窪郡早島町 矢尾807	徳山 ☎ 0834(22)1627 徳山市浦山開作 8211の5	津山 ☎ 0868(23)1264 津山市北園町22の8	山口 ☎ 0839(89)4441 山口市大字佐山 1120の1
松江 ☎ 0852(23)1128 松江市西津田2丁目 10の19	広島 ☎ 082(295)5011 広島市西区南観音 8丁目13の20	下関 ☎ 0832(56)4597 下関市秋根北町5の7		

四 国 地 区

お客様ご相談センター		四国 ☎ 0878(51)3338 高松市古新町8の1	徳島 ☎ 0886(98)1125 徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108	松山 ☎ 0899(71)2106 松山市土居田町750の2
修理相談窓口		香川 ☎ 0878(74)6200 香川県綾歌郡 国分寺町新名663の1	高知 ☎ 0888(66)3142 南国市岡豊町中島 331の1	宇和島 ☎ 0895(25)6280 宇和島市中沢町1丁目 5の43
	東予 ☎ 0897(40)4501 新居浜市船木 字元船木甲4120の1			

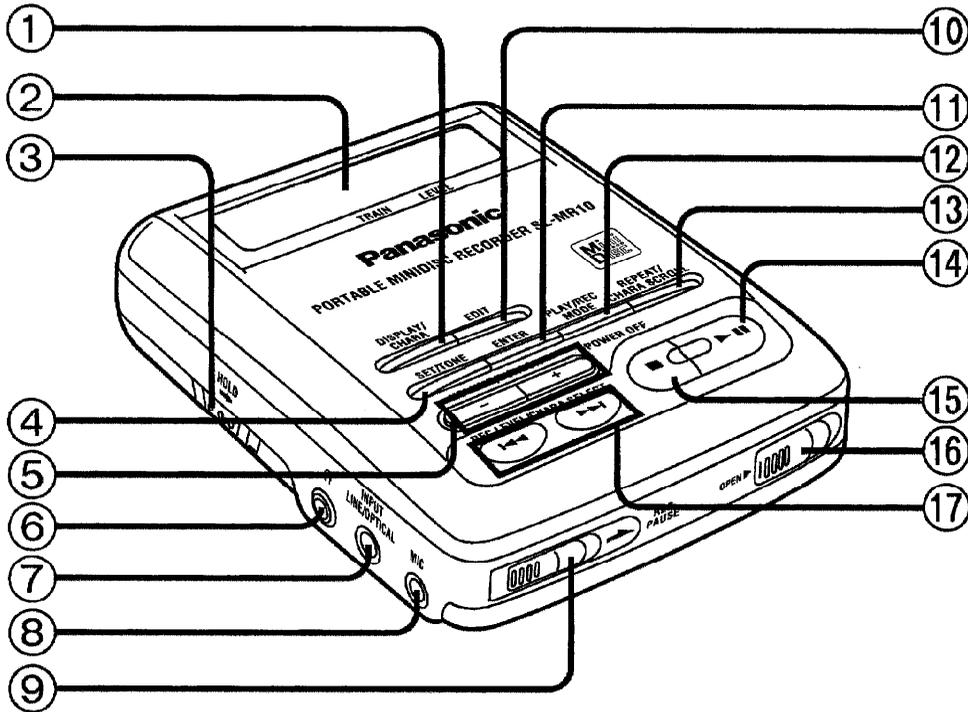
九 州 地 区

お客様ご相談センター		九州 ☎ 092(414)3039 福岡市博多区博多駅 南1丁目2の13	大分 ☎ 0975(56)3815 大分市秋原4丁目8の35	八代 ☎ 0965(34)5611 八代市田中西町46
修理相談窓口		福岡 ☎ 092(593)9036 春日市春日公園 3丁目48	中津 ☎ 0979(24)6150 中津市大字万田612の1	天草 ☎ 0969(22)3125 本渡市港町18の11
佐賀 ☎ 0952(26)9151 佐賀市本庄町 大字本庄896の2	日田 ☎ 0973(24)6464 日田市玉川町3丁目 554の2	鹿児島 ☎ 0992(50)5657 鹿児島市与次郎1丁目 7の36	宮崎 ☎ 0985(85)6530 宮崎県宮崎郡清武町 下加納366の2	薩摩 ☎ 0996(25)2239 川内市永利町703の2
長崎 ☎ 0958(30)1658 長崎市東町1949の1	延岡 ☎ 0982(22)1138 延岡市卸本町1の30	鹿屋 ☎ 0994(44)7031 鹿屋市新川町6170の1	都城 ☎ 0986(22)2014 都城市平江町2街区 13号	大島 ☎ 0997(53)5101 名瀬市矢之脇町10の15
佐世保 ☎ 0956(39)4626 佐世保市広田3丁目 37の2	熊本 ☎ 096(367)6067 熊本市健軍本町12の3			

沖 縄 地 区

修理相談窓口		沖縄 ☎ 098(877)1207 浦添市城間4丁目 23の11	北部 ☎ 0980(52)3458 名護市字宇茂佐914の3	中部 ☎ 098(933)4010 沖縄市山内2丁目26の6
---------------	--	--	-----------------------------------	-----------------------------------

Location of Controls and Functions



■ Main unit

① DISPLAY/CHARA button

Use this button to change the display or character.

② Display

③ Hold switch (Exclusive for the main unit)

④ SET/TONE button

Use this button to add a track mark, or change the tone.

⑤ VOLUME/CURSOR buttons

Use these buttons to adjust the volume level, or move a cursor.

⑥ Headphones jack

You can also use this jack as an analog output terminal.

⑦ INPUT, LINE/OPTICAL terminal

Use this terminal as an ANALOG/DIGITAL terminal.

⑧ Mic jack

⑨ REC PAUSE switch

In the power off mode, you can switch on the power with this switch sliding.

⑩ EDIT button

Use this button to change the edit mode.

⑪ ENTER button

Use this button to input characters.

⑫ **PLAY/REC MODE button**

Use this button to switch to the play mode or record mode.

⑬ **REPEAT/CHARA SCROLL button**

Use this button to repeat the track or scroll the characters.

⑭ **▶▶▶ button**

Use this button to start playing or stop playing temporarily.

In the power off mode, you can switch on the power with this button pressing.

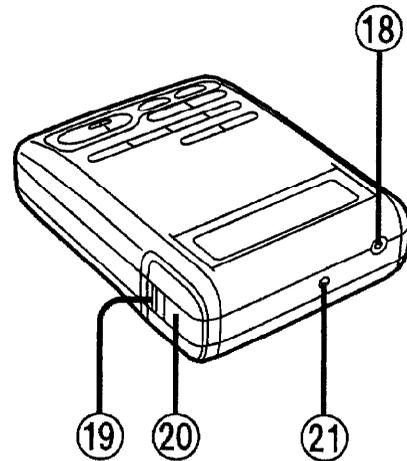
⑮ **■, POWER OFF button**

Use this button to stop playing and recording or switch off the power.

⑯ **OPEN switch**

⑰ **◀◀▶▶ REC LEVEL/CHARA SELECT button**

Use these buttons to fast forward/rewind and skip the tracks, or select the characters, adjust the recording level.



■ **Rear panel of this unit**

⑱ **DC IN jack**

(DC IN 6 V ◊⊖⊕◊)

⑲ **Battery compartment lid open switch**

⑳ **Battery compartment lid**

㉑ **Hole for the battery case**

To prevent the accidental operation:

(See page 15.)

(HOLD function)

If you set the unit to the HOLD state, you can prevent the unit from operating even if its function buttons are pressed accidentally, or battery consumption.

Before operating, be absolutely sure to release the HOLD state.

For your reference:

“HOLD” switch is each on the main unit and remote control unit for their exclusive use.

Power Source (See pages 12–13)

To use the unit with the AC adaptor (included)

Use only the AC adaptor provided with this unit.

When not in use for a long period of time, switch off the unit, and disconnect the AC adaptor from the AC power output.

To use with the rechargeable batteries (not included)

For its initial use after purchasing or after a long time interval (more than three months), be sure to recharge the rechargeable battery.

1. Open the battery compartment lid.
2. Install a pack of rechargeable batteries, and close the battery compartment lid.
3. Connect the AC adaptor.

The “CHARGE” appears on the display, and the recharging will start. Reconnect the AC adaptor when “CHARGE” doesn’t appear on the display.

Recharging is finished, the “CHARGE” will disappear on the display.

4. After completing the recharging of the batteries, disconnect the AC adaptor.

Note:

Recharging is not possible when the unit is in use.

To use with the dry cell batteries (not included)

Install four “AA” size (LR6) alkaline batteries.

We recommend that you use the Panasonic alkaline batteries that last long.

1. Install four batteries in the battery case.
2. Mount the battery case.
 - (1) Mount the battery case to the main unit.
 - (2) Screw up and fix the battery case.

To use with the car adaptor (not included)

Be sure to obtain the car adaptor (not included: SH-CDC9), available as an optional accessory.

Note:

You can play a mini disc using the car adaptor (not included: SH-CDC9), but recharging from the car power source is not possible.

Recording (Recording example of the analog source)

This example shows how to record from the analog source (in this example, CD).

(When making the digital input recording, you don't have to adjust the recording level.)

Preparation:

Close the erasure prevention tabs at the side of the MD.

- 1 Slide OPEN to open the lid, and insert the recordable MD.**
- 2 Slide REC PAUSE to put the unit into the recording standby condition.**

The power is automatically switched to ON, and the unit goes into a recording standby condition.

- 3 Start playing a CD on the CD player.**
- 4 Adjust the recording level.**

▶▶: To increase the level

◀◀: To decrease the level

Adjust the level so that the Peak level meter sometimes reaches to "3".

When "OVER" is displayed, the sound will be distorted.

- 5 Stop playing a CD on the CD player.**
- 6 Press ▶▶.**
- 7 Start playing a CD on the CD player.**
- 8 Press ■, POWER OFF to stop recording.**

The recording will be completed after "UTOC Writing" appears on the display, and then goes off.

To stop recording temporarily:

Press ▶▶.

To resume recording, press the button again.

Track marking manually:

Usually the unit identifies the blank portion of more than 3 seconds to add track marks.

Marking manually, press SET/TONE at the desired point.

The track numbers following new mark will be renumbered.

While recording, use the AC adaptor. If you use the batteries and the power is turned off while recording, the following things may happen:

- When the power is turned off before "UTOC Writing" display will appear, the recordings will be cancelled.
- When the power is turned to off while "UTOC Writing" display appears, MD will be unformatted.

Do not move or jog the unit while recording. Pay a particular attention while "UTOC Writing" display appears.

Playback

- 1 **Connect the headphones to the headphones jack.**
- 2 **Slide OPEN to open the lid, and insert the MD.**
- 3 **Press ►||.**
The power will be automatically switched to ON, and the playback will start.
- 4 **Adjust the volume level with VOLUME buttons.**
+: To increase the volume level
–: To decrease the volume level

To stop playback

Press “■, POWER OFF” to turn off the unit.

To skip forward or backward

To skip forward:

Press ►►|.

The track will be skipped to the next one.

To skip backward:

Press |◄◄.

The track will be skipped to the previous one.

While playing, the track will be skipped to the beginning of the track being played.

To search forward or backward

To search forward:

Press and hold ►►| while playback

To search backward'

Press and hold |◄◄ while playback

Concerning the MD

EDit Function (See page 36–41)

Press EDIT to select one of the edit modes.

To combine 2 tracks (JOIN)

You can erase a track mark and combine 2 tracks. For example, with the classical music, erases a track mark on the beginning of the movement, and combines the movements as 1 track.

To divide one track into 2 tracks (DIVIDE)

You can add a track mark and divide one track into 2.

For example, with the classical music, a track mark at the beginning of the movement to make it easier to find the desired movement.

To rearrange the track order (RENUMBER)

You can rearrange the track in the desired order.

Note that after rearranging the order, the original order will not be retrieved by pressing a button or so like in the program play, since the rearranged order is recorded on the MD itself.

To erase recorded tracks (ERASE)

You can erase a recorded track or all the tracks.

It erases the track from the MD and the remaining tracks are renumbered.

用語解説

●TOC (Table of Contents) :
曲の位置、区切り、曲順など、ディスクに関する情報が、もくじのような形でまとめて記録されている、ディスクの特定領域のこと。

●UTOOC (User Table of Contents) :
使用者のために設けられたTOCのこと。編集内容やディスク(曲)名などの情報が書き込まれる領域です。

●トラックマーク:
曲を区切る目的で、ディスクに記録されるマークのこと。レコーダー本体がトラックマークを判別・移動することで曲の頭出しや、編集が可能になります。

●マーキング:
トラックマークをディスクに記録していくこと。オートマーキングとマニュアルマーキングの2つがあります。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎ () -	お近くの 当社ご相談 センター	☎ () -	お買い上げ日	年 月 日
				品番	SL-MR10

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06) 909-1021

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division

1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06) 909-1021

RQT3066-2S

F0795B2085(D)

Printed in Japan

リモコン早見表

